

【ソフトウェア使用許諾書】

下記の条項は株式会社アーク情報システム（以下「ARK」といいます）が、「HD革命/Eraser パソコン完全抹消」（コンピュータ・ソフトウェア、マニュアル、その他関連資料を含み、以下「本ソフトウェア」といいます）に適用いたします。

1. 使用許諾

- ①お客様が個人ユーザーの場合、本ソフトウェアはお持ちのコンピュータの台数分で使用することができます。ただし、本ソフトウェアを使用するコンピュータは、同一個人で所有するコンピュータであるものとします。また、抹消するディスクの台数に制限はありません。
- ②お客様が法人ユーザーの場合、本ソフトウェアは1台のコンピュータで使用できます。ただし、抹消するディスクは3台までとします。制限台数を超えるディスクを抹消する場合は、内蔵、外付けを問わずそのディスク台数分の追加ライセンスが必要となります。
- ③お客様は、本ソフトウェアのバックアップを目的に、ただ一つの複製を作成することができます。

2. 使用許諾期間

- ①本契約は、お客様が本契約の内容に同意して本ソフトウェアの使用を開始したときより発効し、お客様が本ソフトウェアの使用を止められるまでを有効とします。
- ②お客様が本契約のいずれかの条項に違反した場合、ARKは本契約を一時的に終了させていただくことがあります。

3. 保証および責任の内容

- ①CDおよびマニュアルに物理的な欠陥がある場合は、購入後30日以内は無償で交換いたします（バンドル版は除きます）。ただし、お客様は本ソフトウェアの購入日を証明できる写しを添付しなければなりません。それ以外の場合は実費をご負担いただきます。
- ②ARKは、本ソフトウェアの仕様およびサービスの内容を予告なしに変更することがあります。なお、本製品のサポートサービス終了に関しては、Webページにてご案内いたします。
- ③ARKは、サポートを終了した製品に関しては、サポートサービスを提供する義務を負わないものとします。
- ④サポートサービスは、ARKの規定に沿って電話、メール、FAXで行いますが、サポートサービスがお客様の目的に適合することを保証するものではありません。
- ⑤ARKは、ユーザー登録がなされない場合や、登録変更の届け出がなされない場合、またはその内容に不備がある場合において、ARKからお客様へ連絡の不達において生じる不利益および損害については、一切の責任を負うものではありません。なお、メール等でご案内する本ソフトウェアに関する情報やサポートサービスの内容に関しては、Webサイトでも同内容のご案内しておりますので、こちらをもってお客様へのご連絡とさせていただきます。
- ⑥ARKおよびMicrosoft（バンドル版においては本ソフトウェアの提供先も含まれます）は、いかなる場合にもお客様が本ソフトウェアを使用した結果に関して一切の責任を負うものではありません。
- ⑦本契約のもとで、本ソフトウェアの品質および性能に関して発生する問題は、お客様の費用負担をもって処理するものとします。
- ⑧本契約のもとで、ARKがお客様に負担する責任の総額は、本ソフトウェアの購入金額を超えないものとします。
- ⑨本ソフトウェアのサービス（主にサポートサービスとなりますがこれに限りません）は日本国内に限定されるものとします。また、日本語で対応することとします。

4. 禁止事項

- ①本ソフトウェアを逆コンパイルまたは逆アセンブル、またはその他の方法でソースコードを解析すること。
- ②本ソフトウェアを譲渡、転貸、再販売、輸出すること。
- ③ARKへの文書による事前の承諾なしに、本ソフトウェアの二次著作物を創作、譲渡、販売、転貸すること。
- ④ARKへの事前の承諾なしに、本ソフトウェアを引用し書籍を刊行すること。
- ⑤ネットワークにおいて、本ソフトウェアを私的使用を超える範囲で利用すること。

5. その他

- ①お客様およびARKは、本契約に関連して発生した紛争については、東京地方裁判所を第一審の管轄裁判所とするものとします。
- ②本ソフトウェアの一部機能はWindows PEを使用しており、Windows PEはMicrosoft社およびMicrosoft関連会社のライセンスとなります。
- ③Windows PEについて、Microsoft社およびMicrosoft関連会社でのサポートは行いません。
- ④Windows PEは、起動から72時間後に再起動します。

著作権

- ・HD革命/Eraser パソコン完全抹消の著作権は株式会社アーク情報システムが有しています。
- ・HD革命は株式会社アーク情報システムの登録商標です。

【ソフトウェア使用許諾書】

下記の条項は株式会社アーク情報システム（以下「ARK」といいます）が、「HD革命/Eraser ファイル抹消」（コンピューター・ソフトウェア、マニュアル、その他関連資料を含み、以下「本ソフトウェア」といいます）に適用いたします。

1. 使用許諾

- ①お客様は本ソフトウェアを、1台のコンピューターに限り使用できます。
- ②お客様は、本ソフトウェアのバックアップを目的に、ただ一つの複製を作成することができます。

2. 使用許諾期間

- ①本契約は、お客様が本契約の内容に同意して本ソフトウェアの使用を開始したときより発効し、お客様が本ソフトウェアの使用を止められるまでを有効とします。
- ②お客様が本契約のいずれかの条項に違反した場合、ARKは本契約を一方向的に終了させていただくことがあります。

3. 保証および責任の内容

- ①CDおよびマニュアルに物理的な欠陥がある場合は、購入後30日以内は無償で交換いたします（バンドル版は除きます）。ただし、お客様は本ソフトウェアの購入日を証明できる写しを添付しなければなりません。それ以外の場合は実費をご負担いただきます。
- ②ARKは、本ソフトウェアの仕様およびサービスの内容を予告なしに変更することがあります。なお、本製品のサポートサービス終了に関しては、Webページにてご案内をいたします。
- ③ARKは、サポートを終了した製品に関しては、サポートサービスを提供する義務を負わないものとします。
- ④サポートサービスは、ARKの規定に沿って電話、メール、FAXで行いますが、サポートサービスがお客様の目的に適合することを保証するものではありません。
- ⑤ARKは、ユーザー登録がなされない場合や、登録変更の届け出がなされない場合、またはその内容に不備がある場合において、ARKからお客様へ連絡の不達において生じる不利益および損害については、一切の責任を負うものではありません。なお、メール等でご案内する本ソフトウェアに関する情報やサポートサービスの内容に関しては、Webサイトでも同内容のご案内をしておりますので、こちらをもってお客様へご連絡とさせていただきます。
- ⑥ARKおよびMicrosoft（バンドル版においては本ソフトウェアの提供先も含みます）は、いかなる場合にもお客様が本ソフトウェアを使用した結果に関して一切の責任を負うものではありません。
- ⑦本契約のもとで、本ソフトウェアの品質および性能に関して発生する問題は、お客様の費用負担をもって処理するものとします。
- ⑧本契約のもとで、ARKがお客様に負担する責任の総額は、本ソフトウェアの購入金額を超えないものとします。
- ⑨本ソフトウェアのサービス（主にサポートサービスとなりますがこれに限りません）は日本国内に限定されるものとします。また、日本語で対応することとします。

4. 禁止事項

- ①本ソフトウェアを逆コンパイルまたは逆アセンブル、またはその他の方法でソースコードを解析すること。
- ②本ソフトウェアを譲渡、転貸、再販売、輸出すること。
- ③ARKへの文書による事前の承諾なしに、本ソフトウェアの二次著作物を創作、譲渡、販売、転貸すること。
- ④ARKへの事前の承諾なしに、本ソフトウェアを引用し書籍を刊行すること。
- ⑤ネットワークにおいて、本ソフトウェアを私的使用を超える範囲で利用すること。

5. その他

- ①お客様およびARKは、本契約に関連して発生した紛争については、東京地方裁判所を第一審の管轄裁判所とするものとします。

著作権

- ・HD革命/Eraser ファイル抹消の著作権は株式会社アーク情報システムが有しています。
- ・HD革命は株式会社アーク情報システムの登録商標です。

目 次

HD革命/Eraser パソコン完全抹消

- ・ご利用いただける動作環境（システム要件）……………パソコン完全抹消-2
- ・インストール……………パソコン完全抹消-4
- ・Windows PE 起動用ディスクの作成……………パソコン完全抹消-5
- ・注意事項・制限事項……………パソコン完全抹消-8
- ・ハードディスク全体、メディアを抹消……………パソコン完全抹消-12
- ・パーティションを選択して抹消……………パソコン完全抹消-14
- ・起動中のWindowsごと
 - ハードディスクを完全抹消……………パソコン完全抹消-16
- ・BIOS版で抹消……………パソコン完全抹消-19
- ・CD/DVD/BDメディアの消去……………パソコン完全抹消-22
- ・抹消ログの取得……………パソコン完全抹消-23
- ・ネットワークドライブの割り当て
 - (CDから起動した場合)……………パソコン完全抹消-24
- ・パスワードの設定……………パソコン完全抹消-25
- ・SSDの抹消……………パソコン完全抹消-26

HD革命/Eraser ファイル抹消

- ・ご利用いただける動作環境（システム要件）……………ファイル抹消-2
- ・インストール……………ファイル抹消-3
- ・注意事項・制限事項……………ファイル抹消-4
- ・ファイルを選択して抹消……………ファイル抹消-8
- ・Ark シュレッダーでファイルを抹消……………ファイル抹消-10
- ・履歴の抹消……………ファイル抹消-12
- ・ユーザーアカウントの抹消……………ファイル抹消-15
- ・ディスクの空き領域の抹消……………ファイル抹消-17
- ・スケジュールの設定……………ファイル抹消-19
- ・オプション設定……………ファイル抹消-21

共通機能

- ・ドライブ情報の取得……………共通機能-2
- ・コンピューター情報の取得……………共通機能-3
- ・アップデータの確認……………共通機能-5

参考資料

- ・抹消方式について……………参考資料-2
- ・ディスクの初期化とパーティションの作成……………参考資料-5
- ・USBメモリーのフォーマット……………参考資料-7
- ・ユーザーサポートのご利用にあたって……………参考資料-8
- ・ユーザーサポートについて……………参考資料-9

HD 革命 /Eraser パソコン完全抹消



「HD 革命 /Eraser パソコン完全抹消」は、ドライブ全体、またはパーティション単体を抹消するソフトウェアとなります。

ご利用いただける動作環境（システム要件）

HD 革命 /Eraser パソコン完全抹消（本マニュアルでは以降「Eraser パソコン完全抹消」といいます）をご利用いただくためには、次のコンピューターハードウェアおよびオペレーティングシステムが必要です。

インストールして使用する場合

オペレーティングシステム (いずれも日本語版)	Windows 10 32bit/64bit 版 Windows 8.1 32bit/64bit 版 (Windows 8.1 Update を含む) Windows 7 32bit/64bit 版 (SP1 以降) ※アドミニストレータ権限（管理者権限）が必要です。 ※Windows RT/RT 8.1 には対応していません。 ※Windows 8 は Windows 8.1 にアップデートして使用してください。
コンピューター	上記のオペレーティングシステムが稼働するコンピューター (PC/AT 互換機のみ) ※Macintosh (Mac) には対応していません。
メモリー	Windows 10/8.1/7 64bit 版：2GB 以上 Windows 10/8.1/7 32bit 版：1GB 以上
CD/DVD ドライブ	CD を読み込めるドライブ ※Windows PE 起動用ディスクを CD/DVD メディアに作成するには、メディアの書き込みに対応したドライブが必要。
ハードディスク・SSD	100MB 以上の空き容量 ※このほかに Windows PE 起動用ディスクイメージなど作業ファイルを保存するための空き容量が必要。
その他	インターネット接続環境 ※Windows PE 起動用ディスクの作成やアップデートのダウンロードで使います。この機能を使用しない場合は不要。 起動用 USB メモリーを作成する場合、1GB 以上の USB メモリーが必要。

CD（起動用USBメモリー）から起動して使用する場合

CDから起動してBIOS版またはWindows PE版の「Eraser パソコン完全抹消」をご使用いただくためには、次のコンピューターハードウェアが必要です。

オペレーティングシステム	CDからコンピューターを起動するため、インストールされているオペレーティングシステムに依存せずに本製品を使用できます。
コンピューター	インストールして使用する場合と同様 ※CDからコンピューターを起動するためには、コンピューターの設定が必要となる場合があります。
メモリー	BIOS版：4MB以上 Windows PE版：512MB以上（ビデオメモリーと兼用の場合は1GB以上）
ドライブ	CD-ROMが読み込めるドライブ
その他	・起動用USBメモリーで起動する場合、USBから起動できる環境が必要。 ・ハードディスクを認識するためのドライバ。 ※RAID、SCSI環境でWindows PE版を使用する際、ハードディスクが認識されなかった場合に必要です。



Windows PEは起動してから72時間後に自動的に再起動します。



起動デバイスの優先順位について

最近のコンピューターの多くはCDやUSBデバイス中のOSも起動可能ですが、多くの場合、初期状態ではハードディスクからの起動設定になっており、そのままでは起動できないことがあります。CDやUSBデバイスからOSを起動するためには下に示した例のように、起動時にファンクションキーを押してメニューを呼び出しデバイスの選択、BIOSと呼ばれる設定画面での設定変更などが必要です。ただし、起動するデバイスの変更方法はメーカーや機種に依存してさまざまであるため、その具体的な方法は弊社ではお答えすることはできません。コンピューター付属のマニュアルやヘルプを参照するか、ハードウェアメーカーにお問い合わせください。

《起動デバイスの設定例》

● SONY VAIO SVT13119

- ①電源が切れている状態で「ASSIST」ボタンを押す。
- ②表示されたメニューの中で「USBメモリーやディスクから起動」を選択する。

● Lenovo G580

- ①電源を入れた後にBIOSが表示されるまで「F12」キーを何度も押す。
- ②リストの中から、起動するデバイスを選択する。

● NEC VALUESTAR VW770/J

- ①電源を入れた後にBIOSが表示されるまで「F2」キーを何度も押す。
- ②BIOSのメニューで「BOOT」を選択する。
- ③「1st Boot」で「Enter」キーを押し、「CD/DVD」を選択する。
- ④「Exit」→「Save changes and Reset」を選択する。

インストール

旧バージョンのHD 革命 /Eraser をインストールされている場合は、アンインストールしてからインストールを始めてください。

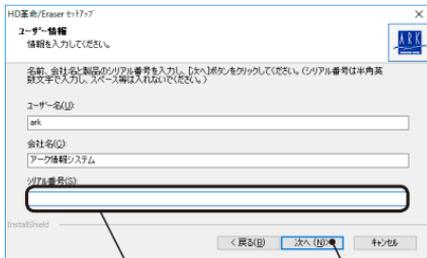
1 インストール開始

「インストール開始」をクリックします。



2 シリアル番号の入力

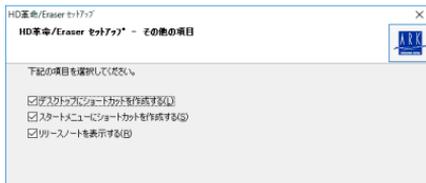
シリアル番号を入力します。



- シリアル番号は、半角英字の大文字と半角数字で入力してください。ハイフン(-)も必要です。(例) ABCD - E12 - FGH345JK67
- 受け付けられないときは、全角文字や小文字になっていないかどうかを確認してください。

3 項目の選択

インストールに関する設定を行います。「デスクトップにショートカットを作成する」を選択すると、インストール後、デスクトップに「Ark ランチャー」のアイコンが作成されます。



4 再起動

インストール後はコンピューターを再起動します。

アンインストールは、Windowsの「コントロール パネル」を開き、「プログラムのアンインストール」から行ってください。



Ark ランチャーについて

Ark ランチャーは、「Eraser パソコン完全抹消」の起動や、各種ツールを起動することができます。



Windows PE 起動用ディスクの作成

Ark ランチャーから、Windows PE で操作を行うための起動用ディスクを作成することができます。作成される Windows PE 起動用ディスクに含まれる Windows PE のバージョンは、Windows 10 の場合は 10.0、Windows 8.1 の場合は 5.1、Windows 7 では 3.0 となります。

Windows PE 起動用ディスクは、基本的に操作を行うコンピューターで作成します。Windows のバージョンや bit 数が異なる他のコンピューターで作成すると、操作を行うコンピューターでは起動できない場合があります。Windows PE 起動用ディスクを作成する環境と使用する環境に注意してください。

1 「Windows PE 起動用ディスクの作成」を選択

Ark ランチャーで「便利ツール」→「Windows PE 起動用ディスクの作成」を選択します。



2 作成先ドライブの選択

空のメディアを挿入したドライブを選択します。



起動用 USB メモリーの作成

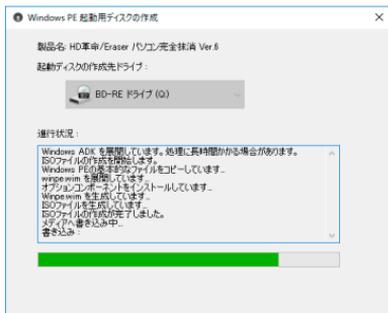
「Windows PE 起動用ディスクの作成」機能では、CD/DVD メディアのほかに USB メモリーなどのリムーバブルディスクも指定できます。ここで作成した USB メモリーは、CD/DVD メディアと同様に Windows PE が搭載された起動用 USB メモリーとして、操作を行うことができるようになります。起動用 USB メモリーを作成する場合はドライブ名欄で、USB メモリーのドライブを選択してください。



- 起動用 USB メモリー作成時は USB メモリー内のデータが削除されます。元に戻すことはできませんので、必要なデータが残っていないことを確認してから作成を開始してください。

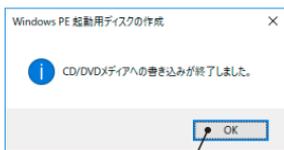
5 メディアへの書き込み

メディアへの書き込みが自動的に開始します。



6 メディアへの書き込み終了

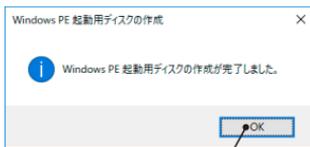
メディアへの書き込みが終了すると次のメッセージが表示されますので、「OK」をクリックします。起動用 USB メモリーを作成する場合、このメッセージは表示されません。



9クリック

7 起動用ディスクの作成完了

Windows PE 起動用ディスクの作成が完了すると次のメッセージが表示されますので、「OK」をクリックします。



6クリック



Windows PE 起動用ディスクで コンピューターを起動

「Eraser パソコン完全抹消」で作成した Windows PE 起動用ディスク（起動用 CD/USB メモリー）でコンピューターを起動し、ドライブの操作を行うことができます。Windows PE 起動用ディスクは、(パソコン完全抹消-5) ページの手順で最初に作成することをおすすめします。

1. コンピューターを起動

起動用 CD をドライブに挿入（起動用 USB メモリーは USB ポートに接続）した状態でコンピューターを起動します。

2. 起動の選択

次のメッセージが表示されている間に、キーボードで何かキーを押します。

Press any key to boot from CD or DVD...

3. Ark ランチャーの起動

Ark ランチャーが起動しますので、操作を選択します。



※ドライブのインストールについて

起動後の Ark ランチャーで、「便利ツール」→「デバイスドライバのインストール」を選択し、ドライバ情報ファイル (inf ファイル) を選択して RAID や SATA などのドライバを追加できます。

ハードディスクが認識できる場合はこの操作は不要です。必要なドライバはハードウェアに添付されているものを使用するか、メーカーの Web サイトからダウンロードしてください。

注意事項・制限事項

リカバリー領域に関して

・リカバリーデータ領域の抹消について

ハードディスク上に作成されているリカバリーデータが保存されている領域（以降リカバリー領域といいます）を抹消するとメーカー出荷時の状態に戻すことができなくなります。コンピュータによっては、隠しドライブになっているものもありますので、リカバリーデータが保存されている領域を抹消前に確認してください。また、リカバリー領域を削除するとメーカー保証を受けられなくなる場合もあるので注意が必要です。リカバリーに関しては、コンピュータのマニュアルなどをご覧ください。

なお、BIOSにより保護されているHPA (Hidden Protected Area) のリカバリー領域を抹消することはできません。

・リカバリー領域を残して抹消する機能について

一部のメーカー製のコンピュータ（工人舎など）は、システムドライブ（通常はCドライブ）にリカバリーを行うためのプログラムが組み込まれていますので、Cドライブを抹消してしまうとリカバリー領域が残っていてもリカバリーができなくなることがあります。リカバリー用ディスクを作成する機能がある場合は、あらかじめ作成してから抹消を行うようにしてください。

インストールして抹消、またはWindows PEを起動して抹消する場合

・抹消できるデバイスについて

抹消できるデバイスは、ハードディスク、リムーバブルディスク（例：USBメモリー、MO、SDHCメディアカード）、FDなどのWindows上で認識されているほとんどのドラ

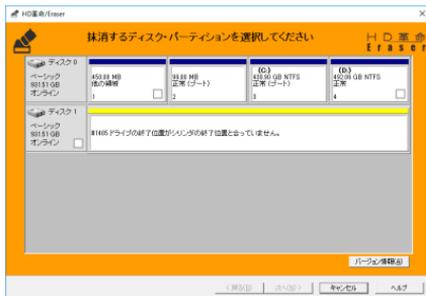
イブ、メディアを抹消することができます。ただし、一部例外のデバイス（例：テープメディア）もあります。ネットワークドライブの抹消はできません。

・マルチカードリーダー／ライターについて

マルチカードリーダー／ライターを使用する場合、一部のドライブ（スロット）が認識できない場合があります。

・エラーがあるハードディスクについて

抹消を行うハードディスクにエラーがある場合、ディスク、パーティションの選択画面でディスク全体が黄色で表示されます。このように黄色で表示されている場合、ディスク全体を選択して抹消することはできませんが、パーティション単位の抹消はできません。



・ディスクの保護について

BIOS やソフトウェア、ハードディスクやメディアへのアクセスが保護（ライトプロテクト）されているときは抹消できません。保護（ライトプロテクト）を解除してから抹消を行ってください。

また、SDHC メディアやFDのようにロックスイッチがある場合、ロックを解除してください。

・マルチブート環境における抹消について

マルチブート環境では、OS のシステムファイル (boot.ini など) があるパーティションと起動しているパーティションが異なります。インストールして抹消する場合は、「システム」「ブート」「システム or ブート」と表示されているディスク、パーティションは抹消できません。Windows PE を起動して抹消を行う場合は可能です。

・ダイナミックディスクの抹消について

ダイナミックディスクはディスク全体の抹消となります。パーティションを選択して抹消はできません。また、リカバリー領域を残して抹消する機能は使用できません。

2台以上のハードディスクで「スパンボリューム」や「ストライプ ボリューム」のソフトウェア RAID を構築している場合、1台のハードディスクを抹消すると、組み合わせとなっている他のハードディスクのボリュームが使用できなくなります。Windows の「ディスクの管理」では「失敗」と表示されますので、「失敗」と表示されているボリュームを削除してください。

・仮想ハードディスクの抹消について

Windows 7以降の仮想ハードディスクドライブ (VHD) の抹消は動作保証外となります。

・Windows 8以降の「記憶域」で作成したディスクについて

Windows 8以降の「記憶域」で作成したディスクを抹消は動作保証外となります。

・選択できるデバイス、パーティションの数について

複数のデバイス、またはパーティションを選択して抹消を行う場合、デバイス単位では最大 10 台、パーティション単位では最大 50 個まで選択できます。ただし、複数のデバイス、パ

ーティションを選択して抹消する場合、選択する個数が多くなるほど時間がかかります。環境によっては 1 つずつ選択したほうが短時間で抹消できる場合がありますのでご注意ください。

Windows PE 版について

・ドライブ文字について

Windows PE 版は、ハードディスクを認識する順番やドライブ文字が Windows 上とは異なる場合があります。

また、MBR ディスクにインストールされた Windows 7 以降の「システムで予約済み」パーティションは「C ドライブ」として認識されますので、Windows がインストールされているドライブは、別のドライブ文字として割り当てられます。抹消するドライブ、パーティションの選択時は注意してください。

・システムドライブの抹消について

Windows PE 版では、Windows のインストールドライブや、「システムで予約済み」領域のような起動用として使用されているシステムドライブを抹消することができます。

・起動時間の制限について

Windows PE 版は起動から 72 時間後に自動的に再起動します。抹消中でも再起動されてしまいますので、起動時間に注意してください。

BIOS 版について

・抹消できるデバイスについて

BIOS 版で抹消できるデバイスは、コンピューターの BIOS でサイズが正常に認識できるハードディスク、リムーバブルディスクとなります。Windows 上で認識できているデバイスでも、BIOS 版では認識できない場合やサイズが正常に表示されない場合があります。

・2TB を超えるハードディスクの抹消について
BIOS 版の抹消では、2TB を超えるハードディスクはサイズが正しく認識できないため抹消できません。

・4K セクターハードディスクの抹消について
BIOS 版の抹消では、512 バイトエミュレーションを行っていない4K セクター（4K ネイティブ）フォーマットのハードディスクを抹消することはできません。

・USB キーボードを使用している場合の注意事項

USB キーボードを使用している場合は、設定を変更しないと BIOS 版の選択画面でキーの入力ができないことがあります。入力できない場合は、コンピューターの BIOS で USB キーボードが使用できるように設定を変更してください。USB キーボードに関する項目は、BIOS で以下のような名前が表示されます。設定を変更しても USB キーボードで入力できない場合、PS2 接続のキーボードが使用可能であれば、そちらを使用してください。

- ・ USB キーボードに関する項目の例：
 - 「USB Legacy Device Support」
 - 「USB Legacy Support」
 - 「Legacy USB Support」
 - 「USB Keyboard Support」
 - 「USB レガシー サポート 機能」

抹消実行中の注意

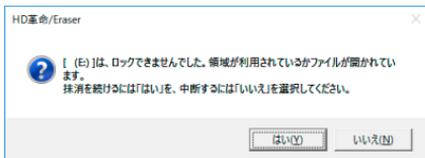
・抹消時間について

抹消時間はお使いの環境（BIOS、OS、チップセット、書き込み速度、ディスクサイズなど）や選択した抹消方式によって異なります。

・ディスクがロックできない場合の抹消について
抹消するディスク、パーティションが開かれている場合や、ファイルが使用中の場合は、デ

ィスクをロックできないため次のようなメッセージが表示されます。

ディスクがロックできない場合、抹消中もそのディスク、パーティションにアクセスできませんが、完全に抹消することができなくなるので抹消中はアクセスしないようにしてください。



・抹消中のディスクアクセスについて

抹消中のディスク、メディアにはアクセスしないでください。また、故障の原因となりますので、抹消中のディスク、メディアの取り外しは行わないでください。

・抹消中の書き込みエラーについて

抹消中のディスク、メディアにおいて、一部のセクターが物理的に破損しているような場合は抹消時にデータが書き込めずエラーとなります。書き込みエラーが発生した場合は、進行状況の欄に「エラー発生」と表示され、抹消終了後のログには、エラーの内容が表示されます。



・抹消が途中で停止してしまう場合の確認事項
環境によっては、抹消が途中で停止してしまうことがあります。このような場合は、以下の

点を確認してもう一度抹消を行ってください。
なお、抹消回数を多く設定した場合も発生することがありますので、回数を少なくして抹消してください。

- ・ BIOS が最新のバージョンになっているか。
- ・ BIOS でハードディスクのサイズが正しく認識されているか。
- ・ ケーブルが断線していないか。
- ・ ドライバが正しくインストールされているか。
- ・ ハードディスクの冷却が十分に行われているか。
- ・ コンピューターや起動中の Windows が不安定な状態になっていないか。

・ 抹消後のフォーマットについて

ディスク、メディアを抹消する時に、抹消後にディスクをフォーマットすることができます。フォーマットする際にコマンドプロンプト画面が開きますが、フォーマットが完了すると自動的に画面が閉じます。

なお、抹消後にフォーマットを行う機能は、抹消時にドライブ文字がついているドライブのみフォーマットを行うことができます。ドライブ文字がついていない「システムで予約済み」領域や、「未割り当て」領域は選択してもフォーマットを行うことができません。また、フロッピーディスクなど、Windows の「ディスクの管理」に表示されないドライブは、抹消後にフォーマットすることはできません。

ハードディスク全体、メディアを抹消

ハードディスク全体または USB メモリー等のメディアを抹消する手順です。

1 「選んで完全抹消」の選択

Ark ランチャーで「選んで完全抹消」を選択します。



③チェックマークがついたことを確認

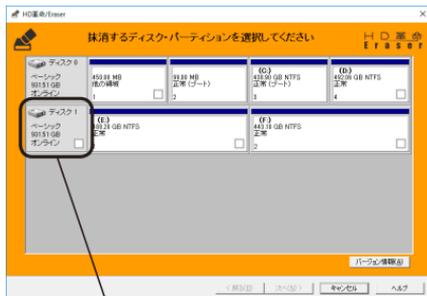


④クリック

⚠️
● 外付けのハードディスクを抹消する場合は、接続して電源を入れておいてください。

2 ハードディスク、メディアの選択

抹消するハードディスク、メディアを選択します。



②抹消するハードディスク、メディアを選択

3 抹消方式の選択

抹消方式と実行回数を選択します。
抹消ログを保存する場合は、ここで保存場所を選択します。

また、ここでは抹消したディスク、メディアをフォーマットするかどうかを指定できます。

⑥抹消方式を選択



⑤実行する回数を選択 (1 ~ 10 回)

⑦クリック

4 抹消実行の確認・開始

抹消を本当に開始するかどうかを確認し、開始します。



①開始するときにクリック



- 抹消を開始するとハードディスクの状態を元に戻すことができません。間違いがなければ、よく確認してから開始してください。

抹消中は下の画面が表示されます。



- 「キャンセル」をクリックすると抹消を中断できますが、ハードディスクを元の状態に戻すことはできません。

Point

「抹消後」にパーティションをフォーマットするオプションを選択した場合は、抹消完了後にコマンドプロンプト画面が表示され、フォーマットが行われます。

5 抹消の終了

抹消が終了するとログが表示されますので、「完了」をクリックして終了します。



②クリック



137GB以上のIDEハードディスクの抹消

古いコンピューターでは Big Drive と呼ばれる 137GB 以上の IDE 接続ハードディスクには対応していないことがあり、その場合はハードディスクが認識されないか、または認識されるのが 120GB までとなります。ディスクのサイズが正常に認識できない場合、認識できない部分での書き込みができないため、ディスクを完全に抹消することはできません。



2TBを超えるハードディスクの抹消

2TB を超えるハードディスクを使用するには、GPT ディスクに対応した OS が必要です。ディスクのサイズが正常に認識できない場合、認識できない部分での書き込みができないため、ディスクを完全に抹消することはできません。

パーティションを選択して抹消

パーティション単位で抹消する手順です。

1 「選んで完全抹消」を選択

Ark ランチャーで「選んで完全抹消」を選択します。



- ⚠️ 外付けのハードディスクを抹消する場合は、接続して電源を入れておいてください。

2 パーティションの選択

抹消するパーティションを選択します。



3 チェックマークがついたことを確認



3 抹消方式の選択

抹消方式と実行回数を選択します。
抹消ログを保存する場合はここで保存場所を選択します。

また、ここでは抹消したパーティションをフォーマットするかどうかを指定できます。

3 抹消方式を選択



4

確認と開始

抹消を本当に開始するかどうかを確認し、開始します。



③開始するときにクリック



- 抹消を開始するとパーティションの状態を元に戻すことができません。
- 間違いないか、よく確認してから開始してください。

抹消中は下の画面が表示されます。



- 「キャンセル」をクリックすると抹消を中断できますが、パーティションを元の状態に戻すことはできません。

5

抹消の終了

抹消が終了するとログが表示されますので、「完了」をクリックして終了します。



隠し領域と未割り当て領域の抹消について

「選んで完全抹消」を選択すると、隠し領域やパーティションが未割り当ての領域も選択して抹消できます。ただし、メーカー製のコンピューターは、この領域をリカバリー領域や起動情報の保存先として利用していることがありますので、隠し領域が先頭にある場合など一部抹消できないパーティションがあります。コンピューターの購入時（メーカー出荷時）から存在していた隠し領域や未割り当ての領域は、抹消しないことを推奨します。

Point

「抹消後にパーティションをフォーマットする」オプションを選択した場合は、抹消完了後にコマンドプロンプト画面が表示され、フォーマットが行われます。

起動中の Windows ごとハードディスクを完全抹消

起動中の Windows ごとハードディスクを完全抹消する手順です (CD から起動して抹消する場合、この機能はありません)。Windows がインストールされているパーティション自体が抹消されてしまうため、この操作を行うと Windows が起動できなくなりますので注意が必要です。

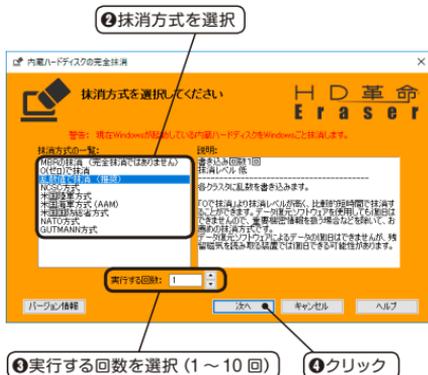
1 「パソコンの完全抹消」を選択

Ark ランチャーで「パソコンの完全抹消」を選択します。



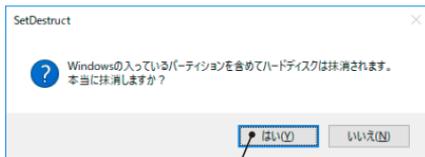
2 抹消方式の選択

抹消方式と実行回数を選択します。



3 確認・開始

抹消を本当に開始するかどうかを確認し、開始します。

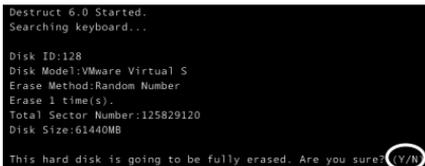


- 抹消を開始するとハードディスクの状態を元に戻すことができません。
- 間違いがないか、よく確認してから開始してください。

この後、Windows が自動的に再起動し、抹消の処理が行われます。

4 Windows の再起動・抹消の実行

Windows が再起動し、次の画面が表示されます。ここで、キーボードの「Y」キーを押します。



④ キーボードの「Y」キーを押す

5 リカバリー領域の抹消設定

抹消するハードディスクにリカバリー領域（次ページのコラム参照）がある場合は、この領域を抹消するかを選択します。リカバリー領域も含めてハードディスク全体を抹消する場合は「W」キーを、リカバリー領域を残す場合は「P」キーを押します。

なお、Windows 7 以降で「システムで予約済み」領域がある場合にも選択メッセージが表示されます。



⑤ 「W」または「P」キーを押す



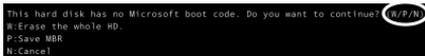
- リカバリー領域を削除するとメーカー出荷時の状態に戻すことができなくなります。メーカー保証を受けられなくなる場合もあるので注意が必要です。また、メーカーによっては、システムドライブ（通常はCドライブ）にリカバリーを行うためのプログラムが組み込まれていますので、Cドライブを抹消してしまうとリカバリーができなくなることがあります。リカバリー用ディスクを作成する機能がある場合は、あらかじめ作成してから抹消を行うようにしてください。

6 抹消の確認

Windows の標準ではないブートコードの場合は、次のメッセージが表示されます。

標準ではないブートコードには、コンピューターのリカバリーを行うためのコードが記されていることがありますので、前述のリカバリー領域の抹消設定で「リカバリー領域を残す」を選択している場合は、ここでは「P」キーを押してください。

「W」キーを押すと、ブートコードを含め完全に抹消されます。抹消を中止する場合は「N」キーを押します。



7 抹消の進行と終了

抹消中は進行状況が表示されます。



抹消が終わると、ログを保存するかどうかを選択するメッセージが表示されます。



⑥ ログを保存するときは「Y」、保存しないときは「N」キーを押す

Point

ログはディスク全体を抹消した場合にのみ、ディスクに保存することができます。

ログを保存した場合、コンピューターを再起動すると下の画面が表示されます。

```

HD Rakumei / Eraser U6.0
Destruct 6.0
HD Model      : HDD
Disk Size (MB) : 130048
Total Sector  : 0xFE00000
Erase Method   : Random
Target        : Whole 1 disk
Write Times   : 1
Start Date/Time : 05/21/2017 13:58
End Date/Time  : 05/21/2017 14:25
Disk Number    :
MAC-1 Number   : 00-15-5D-0B-3D-00
Error         : 0
Disk Snap Shot :
Sector (0x00000003)
D4 98 02 28 74 A9 4A F1 B5 CA 13 FB 04 CC EB 43
D6 DE 62 DE E6 2D 2C 17 04 01 35 35 07 E2 7A 2A
Sector (0x07F00000)
D4 44 2C BB E4 55 34 C1 F5 66 3D CB 04 78 45 D3
16 0A 4C DE 26 99 56 E7 34 AD 5F 5F 47 BE 64 F8
Sector (0x0FDFFFFF)
84 D4 CE E2 D4 95 E6 2B A5 A7 1E 05 B5 F7 E7 FE
14 CA F0 46 D6 EB 36 11 E7 2A 11 11 34 FE 09 71

```

Point

リカバリー領域を残して抹消を行う場合は、ログを保存できません。



リカバリー領域を残して抹消

メーカー製のコンピューターには、メーカー出荷時の状態に戻すための領域がハードディスク中に作られており、「Eraser パソコン完全抹消」ではこの領域をリカバリー領域と表記しています。ファイルシステムがFAT16、FAT32、NTFS、exFATでないパーティションは、すべてリカバリー領域であると判定するため、環境によってはリカバリー領域でない領域も抹消されずに残ることがあります。なお、FAT16、FAT32、NTFS、exFATであっても、ドライブ文字がついていないパーティションは抹消されません。ただし、リカバリー領域であっても、その領域がFAT16、FAT32、NTFS、exFATであり、Windows上で中のファイルが見える場合は「**5** リカバリー領域の抹消設定」画面は表示されずに抹消が行われてしまいます。お使いのコンピューターの仕様をよく確認してから実行してください。



Windows PE 版のすすめ

Windows がインストールされているハードディスクは、Windows が常にドライブに書き込みや読み込みを行っているため、そのままでは抹消できません。そのため、(パソコン完全抹消-16)~(同-18) ページの操作で再起動後に抹消を行っています。しかし、CD から起動して Windows PE 版で抹消を行う場合、ハードディスクの Windows は動作していないため、Windows がインストールされたパーティションを選択して抹消できます。パーティションやリカバリー領域の位置を確認しながらパーティションを選択できますので、Windows PE 版が使用できるので、そちらの方法をおすすめします。

BIOS 版で抹消

「Eraser パソコン完全抹消」の製品CDで BIOS 版（旧バージョンの抹消方式）を起動し、抹消を行うことができます。BIOS 版は以前のバージョンから機能の更新はありませんので、Ver.4.0の製品が搭載されています。CD から起動して抹消を行う場合は、通常「Windows PE 起動用ディスク」を使用し、古いコンピューターで「Windows PE 起動用ディスク」が使用できない場合のみ、BIOS 版を使用して抹消を行ってください。

1 CDでコンピューターを起動

CDをドライブに挿入した状態でコンピューターを起動します。



- CDから起動できないときは、起動デバイスの設定をCDが優先するように変更する必要があります（「パソコン完全抹消-3」ページのコラム「起動デバイスの優先順位について」参照）。

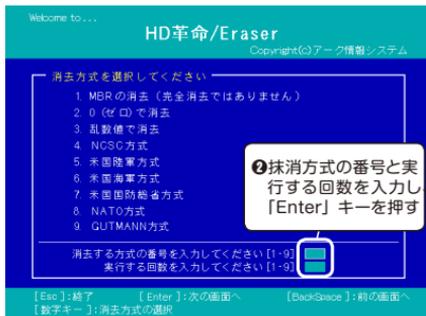
2 ハードディスクの選択

抹消するハードディスクの番号を入力します。



3 抹消方式の選択

抹消方式の番号と実行する回数を入力します。



4 抹消の確認

Windowsの標準ではないブートコードの場合は、次の画面が表示されます。標準ではないブートコードには、コンピューターのリカバリーを行うためのコードが記されていることがありますので、後述のリカバリー領域の抹消設定でリカバリー領域を残す場合は、「P」キーを選択してください。「W」キーを押すと、ブートコードを含め完全に抹消されます。



5 リカバリー領域の抹消設定

抹消するハードディスクにリカバリー領域(次ページのコラム参照)がある場合は、この領域を抹消するかを選択します。リカバリー領域を残してFAT16、FAT32、NTFS、exFATのドライブのみ抹消する場合は「Y」キーを、リカバリー領域も含めてハードディスク全体を抹消する場合は「N」キーを押します。

なお、Windows 7以降で「システムで予約済み」領域がある場合にも選択メッセージが表示されます。



「ESC」キーを押すと終了します。



リカバリー領域を削除するとメーカー出荷時の状態に戻すことができなくなります。メーカー保証を受けられなくなる場合もあるので注意が必要です。また、メーカーによっては、システムドライブ（通常はCドライブ）にリカバリーを行うためのプログラムが組み込まれているので、Cドライブを抹消してしまうとリカバリーができなくなることがあります。リカバリー用ディスクを作成する機能がある場合は、あらかじめ作成してから抹消を行うようにしてください。

6 抹消の開始・進行

抹消内容を確認し、「Y」キーを押します。

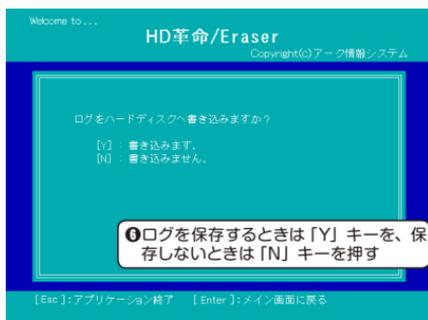
7 抹消の終了処理

抹消が終了すると結果が表示されます。



終了するときは「Esc」キーを、メイン画面に戻るときは「Enter」キーを押す

ログの保存のための画面が開きます。



[ESC] キーを押すと終了します。

HD革命/Eraserを終了しました。
起動したメディアを取り出した後、
コンピュータの電源をお切りください。

8 抹消結果の表示

ログを保存した場合、コンピューターを再起動すると下の画面が表示されます。

```
HD Kakunei / Eraser V4.0
-- Erase Report >>>
Disk Size (MB) : -1024
Total Sector   : FE00000
Erase Method   : MBR
Target         : Whole 1 disk
Write Times    : 1
Start Date/Time : 05/22/2013 18:30
End Date/Time  : 05/22/2013 18:30
Error         :

Disk Snap Shot :
Sector (0x10003)
00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00
00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00

Sector (0x7F00000)
00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00
00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00

Sector (0xFDFFFFFF)
00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00
00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00
<<< Erase Report --
```



リカバリー領域を残して抹消 (BIOS版)

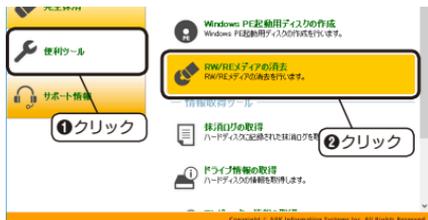
BIOS版も「起動中のWindowsごとハードディスクを完全抹消」(パソコン完全抹消-18)ページのコラム)と同じように、リカバリー領域を残して抹消を行うことができます。ただし、一部動作が異なりますので注意が必要です。BIOS版では、ファイルシステムがFAT16、FAT32、NTFS、exFATでないパーティションをリカバリー領域と判定します。Windows版ではFAT16、FAT32、NTFS、exFATでドライブ文字がついていないパーティションは抹消されませんが、BIOS版ではドライブ文字がついていないパーティションも抹消されます。GPTディスクの場合は、「回復パーティション」、「EFIシステムパーティション」と「MSR (Microsoftシステム予約パーティション)」も抹消されます。抹消方式については、Windows上と同じとなります。

CD/DVD/BD メディアの消去

起動 CD の作成時に CD-RW、DVD±RW、BD-RE メディアを使用することができますが、使用する前にメディアの消去を行う必要があります（CD-R、DVD±R、BD-R メディアの場合は消去の必要はありません）。

1 「RW/RE メディアの消去」を選択

Ark ランチャーで「便利ツール」→「RW/RE メディアの消去」を選択します。

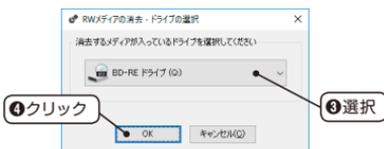


2 メディアを挿入

消去するメディアを挿入します。

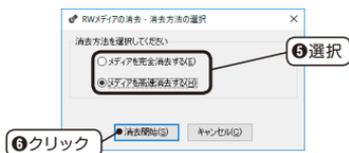
3 ドライブを選択

消去するメディアを挿入したドライブを選択します。



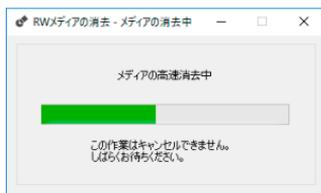
4 消去方法を選択

消去方法を選択します。



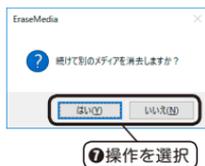
5 消去の実行

消去中は進行状況が表示されます。完全消去の場合は完了までに時間がかかります。



6 消去の終了

消去終了後、次のメッセージが表示されます。別のメディアを消去するときは「はい」、メディアの消去を終了するには「いいえ」をクリックします。



Point

RW/RE メディアの消去方法

- ・メディアを完全消去する…メディア全体を完全に消去します。メディア全体を消去するため時間がかかります。
- ・メディアを高速度消去する…メディアのトラック情報を消去することにより高速に消去します。

抹消ログの取得

「起動中の Windows ごとハードディスクを完全抹消」(〈パソコン完全抹消 -16〉 ページ)、「BIOS 版で抹消」(〈パソコン完全抹消 -19〉 ページ) で、ハードディスクのマスタースタートレコードに記録したログを確認することができます。

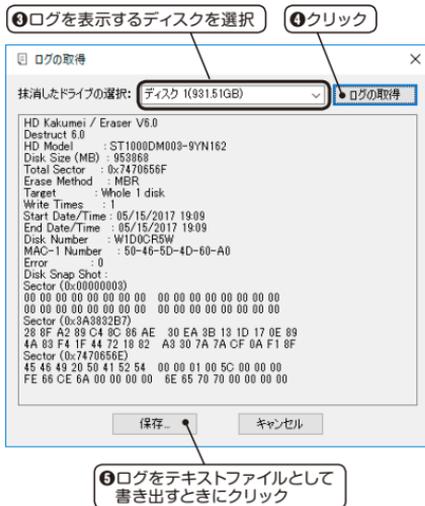
1 「抹消ログの取得」を選択

Ark ランチャーで「抹消ログの取得」を選択します。



2 抹消ログの取得と保存

「ログの取得」をクリックしログを表示します。テキストファイルで保存することもできます。



ネットワークドライブの割り当て (CD から起動した場合)

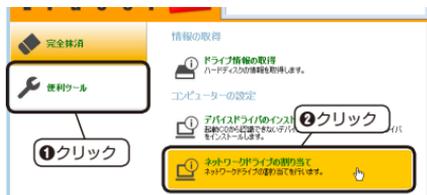
Windows PE 起動用ディスクで起動して抹消を行った場合に、ネットワークドライブにログを保存することができます。ログをネットワークドライブに保存するためには、「ネットワークドライブの割り当て」が必要です。Windows 上での「ネットワークドライブの割り当て」と異なり、抹消の実行前に毎回行う必要があります。また、DHCP サーバーがないネットワークの場合、「ネットワークの詳細設定」によって固定 IP アドレスを設定することができます。

1 CD でコンピューターを起動

作成した Windows PE 起動用ディスクでコンピューターを起動します。

2 「ネットワークドライブの割り当て」を選択

Ark ランチャーで「便利ツール」→「ネットワークドライブの割り当て」を選択します。

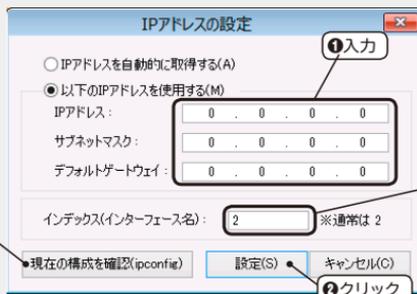


IP アドレスの設定

DHCP サーバーが存在しないネットワーク環境で固定 IP アドレスを割り当てる必要がある場合、Ark ランチャーで「便利ツール」→「IP アドレスの設定」を選択し、任意の IP アドレスを割り当てることができます。

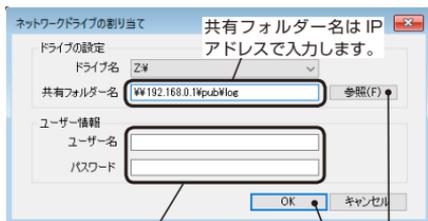
「IP アドレスの設定」画面で、ネットワーク環境に応じた IP アドレスを入力します。

「ipconfig」コマンドを実行した結果が表示されます。



3 共有フォルダーを選択

共有フォルダー名に直接ネットワークパスを入力するか、「参照」をクリックして共有フォルダーを指定します。



ネットワークドライブにログオンパスワードが必要な場合は、ユーザー名とパスワードを入力します。

共有するフォルダーをツリーの中から選択し、「OK」をクリックします。



ネットワークデバイスが複数接続されているようなとき、「2」では正しく設定できない場合があります。その場合は、3、4、5...と変更してみてください。

パスワードの設定

パスワードを設定することで、「Eraser パソコン完全抹消」の起動を制限できます。

1 「パスワードの設定」を選択

Ark ランチャーで「便利ツール」→「パスワードの設定」を選択します。

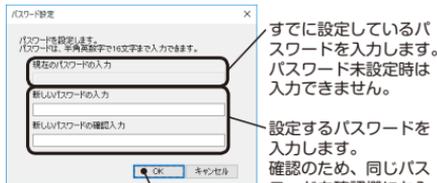


①クリック

②クリック

2 パスワードの入力

パスワードを入力します。



③クリック

すでに設定しているパスワードを入力します。パスワード未設定時は入力できません。

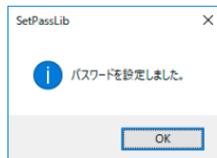
設定するパスワードを入力します。確認のため、同じパスワードを確認欄にも入力します。



- パスワードを忘れてしまうと「パソコンの完全抹消」、「選んで抹消」の各抹消機能が起動できなくなりますので、パスワードの取り扱いに注意してください。

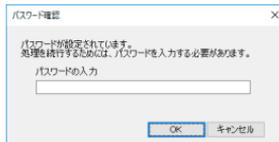
3 パスワードの設定完了

パスワードの設定が完了すると、メッセージが表示されます。



4 抹消機能を起動

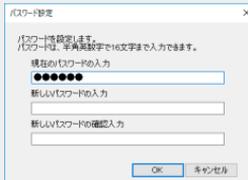
パスワードが設定されている場合は、Ark ランチャーで「パソコンの完全抹消」、「選んで抹消」を選択したときにパスワードの確認画面が表示されます。この画面で設定したパスワードを入力することで、抹消機能を起動できます。



Point

パスワードの解除

パスワードを削除する場合は、パスワードの設定画面で「現在のパスワードの入力」欄に現在のパスワードを入力し、「新しいパスワードの入力」、「新しいパスワードの確認入力」は空欄のまま「OK」をクリックします。



SSD の抹消

SSD はデバイスの特性により、データを上書きする方法では SSD 内にデータが残る可能性があります。それを回避するためには、データを上書きする抹消を繰り返し行う必要があります。しかし、SSD にはデータを消去するための仕組みが用意されており、「SSD の抹消」ではそれを利用して SSD の抹消を行います。

重要 はじめにお読みください

- ・「SSD の抹消」で SSD を抹消するには、SATA (シリアル ATA) の SSD を USB で接続する必要があります。SATA の SSD であっても、取り外しが不可能な場合は使用できません。
- ・USB デバイスとして接続するには USB 変換する外付けケースまたはケーブルを使用しますが、ケースやケーブルによっては「SSD の抹消」で認識ができない (SCSI/ATA Translation に対応していない) ことがあります。SSD が認識できない場合は抹消できません。
- ・PCI Express や NVMe 接続の SSD など、SATA ではない SSD では「SSD の抹消」を使用できません。



1 「SSD の抹消」の選択

Ark ランチャーで「SSD の抹消」を選択します。



1 クリック

2 対象デバイスの選択

「対象のデバイス」のリストの中から抹消する SSD を選択します。「エンハンストモードで抹消」のオプションについては次ページのコラムを参照してください。

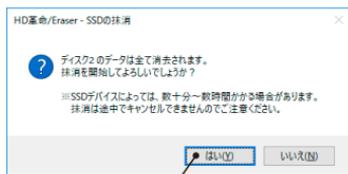


- 「対象のデバイス」には、SSD 以外にも、接続されているハードディスクも表示されますので、選択を間違えないようにしてください。

3

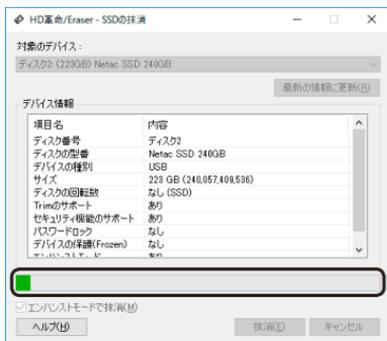
確認と開始

抹消を本当に開始するかどうかを確認し、開始します。



③開始するときをクリック

抹消は通常数十秒から数分で完了しますが、SSDによっては時間がかかるものがあります。



- 抹消中は、コンピューターの電源を切る、USB ケーブルを抜く (SSD の取り外し) などの操作は行わないようにしてください。



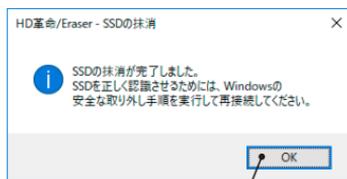
エンハストモードで抹消

SSD には「代替セクター」と呼ばれる予備ブロックが存在しますが、通常「代替セクター」に書かれているデータは Windows からアクセスできず操作できません。「エンハストモード」を有効にすると、「代替セクター」も抹消されます。

4

抹消の完了

抹消が完了するとメッセージが表示されます。抹消完了後は SSD を一度取り外してから再继续してください。

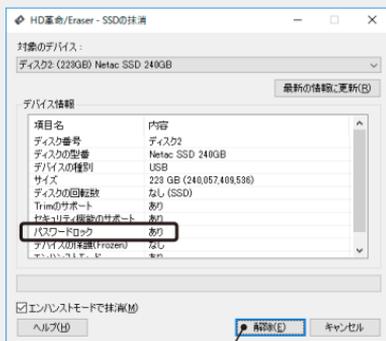


④クリック



ロックされた SSD の解除

SSD の抹消途中でコンピューターの電源を切る、SSD の取り外しを行うなどすると、抹消対象の SSD はロックがかかった状態になりそのままでは使用できなくなります。このような場合、「デバイス情報」の「パスワードロック」の内容が「あり」と表示されます。「SSD の抹消」では、ロックされた SSD は最初にロックを解除する処理が行われます。このとき、画面下のボタンは「解除」ボタンに変わりますので、ロックを解除後にあらためて抹消を行ってください。



ロックされている場合は「解除」ボタンに変わりますので、クリックしてロックを解除します。

HD 革命 /Eraser

ファイル抹消編



「HD 革命 /Eraser ファイル抹消」は、ファイルやフォルダーを指定して抹消するソフトウェアとなります。

ご利用いただける動作環境（システム要件）

HD 革命 /Eraser ファイル抹消（本マニュアルでは以降「Eraser ファイル抹消」といいます）をご利用いただくためには、次のコンピューターハードウェアおよびオペレーティングシステムが必要です。

システム要件（インストールして使用）

オペレーティングシステム (いずれも日本語版)	Windows 10 32bit/64bit 版 Windows 8.1 32bit/64bit 版 (Windows 8.1 Update を含む) Windows 7 32bit/64bit 版 (SP1 以降) ※アドミニストレータ権限（管理者権限）が必要です。 ※Windows RT/RT 8.1 には対応していません。 ※Windows 8 は Windows 8.1 にアップデートして使用してください。
コンピューター	上記のオペレーティングシステムが稼働するコンピューター (PC/AT 互換機のみ) ※Macintosh (Mac) には対応していません。
メモリー	Windows 10/8.1/7 64bit 版：2GB 以上 Windows 10/8.1/7 32bit 版：1GB 以上
ハードディスク・SSD	100MB 以上の空き容量
対応ファイルシステム	FAT32、NTFS (FAT12、FAT16、exFAT、ReFS には対応していません) ※FAT32、NTFS であっても 1 セクターのバイト数が 512 バイトでない環境では使用できません。 ※ダイナミックディスクの環境では使用できません。
その他	インターネット接続環境 ※ アップデータのダウンロードで使います。この機能を使用しない場合は不要。

インストール

旧バージョンのHD 革命 /Eraser をインストールされている場合は、アンインストールしてからインストールを始めてください。

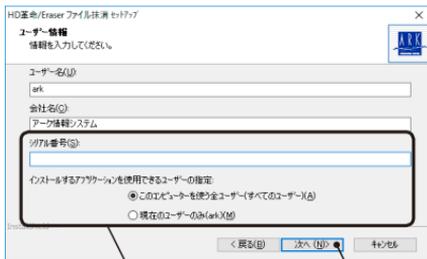
1 インストール開始

「インストール開始」をクリックします。



2 シリアル番号の入力

シリアル番号の入力とアプリケーションを使用するユーザーの設定を行います。



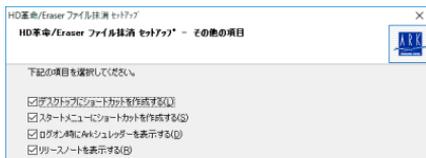
2 シリアル番号を入力し、ユーザーを設定 3 クリック



- シリアル番号は、半角英字の大文字と半角数字で入力してください。ハイフン(-)も必要です。(例) ABCD - E12 - FGH345JK67
- 受け付けられないときは、全角文字や小文字になっていないかどうかを確認してください。

3 項目の選択

インストールに関する設定を行います。「デスクトップにショートカットを作成する」を選択すると、インストール後、デスクトップに「Ark ランチャー」のアイコンが作成されます。「Ark シュレッダー」の設定はインストール後に変更することができます。



4 再起動

インストール後はコンピューターを再起動します。アンインストールは、Windowsの「コントロール パネル」を開き、「プログラムのアンインストール」から行ってください。



Ark ランチャーについて

Ark ランチャーは、「Eraser ファイル抹消」の起動や、各種ツールを起動することができます。



注意事項・制限事項

抹消を行う前の注意

- ・安全にご利用いただくために
「Eraser ファイル抹消」をご利用いただく際に、以下の点に注意して操作を行ってください。
 - ・ファイルを誤って抹消しないように、抹消前に必ず抹消してはいけないファイルが含まれていないかどうかを確認してください。
 - ・抹消時間はお使いのコンピューター環境や選択した抹消方式によって異なります。ファイルの容量、ハードウェアの速度によっては抹消に大変時間がかかることがあります。
 - ・抹消中のドライブまたはメディアへのアクセス（デフラグやアプリケーションの起動などを含む）や取り外しは、ファイルが完全に抹消できなくなるため行わないでください。
 - ・抹消中にコンピューターの電源を切ったりリセットボタンを押したりすると、抹消対象のデータが不完全な状態で残ってしまいます。また、故障の原因ともなりますので行わないでください。
 - ・インストールされているソフトウェアによっては、抹消時に競合が発生し正常に抹消が開始できないことがあります。このような場合は、常駐ソフトウェアの停止や周辺機器の取り外しを行うことで、抹消できるようになることがあります。
 - ・他のアプリケーションによって使用中（ファイルが開かれた状態）のファイルを抹消することはできません。

抹消時の動作環境について

- ・抹消する環境について
「ファイル抹消」では、抹消できるファイルシステムやデバイスなどに以下のような制限が

あります。

- ・対応ファイルシステムは、NTFS、FAT32（1 セクターのバイト数が 512 バイトのみ）となります。FAT12、FAT16、exFAT、ReFS など、他のファイルシステム上のファイルを抹消することはできません。
- ・ダイナミックディスク上のファイルを抹消することはできません。
- ・512 バイトエミュレーションを行っていない 4K セクター（4K ネイティブ）フォーマットのハードディスクを抹消することはできません。また、物理的なセクターサイズが 512 バイトでないデバイスは正しく抹消できない場合があります。
- ・フロッピーディスク、CD/DVD/BD、DVD-RAM、MO、PD、テープメディアなどのデバイスおよび読み取り専用デバイスは、ファイル、フォルダーの抹消および空き領域の抹消を行うことができません。USB メモリー、SD カード、コンパクトフラッシュ、メモリースティック、XD ピクチャーカードなどのリムーバブルメディアは抹消対象となります。
- ・ネットワークドライブ上のファイルは抹消できません。
- ・iPod、iPad、iPhone などの iOS デバイスのファイルは抹消できません。
- ・Android デバイスのファイルは抹消できません。

BitLocker について

BitLocker で保護されているドライブを抹消することはできませんが、ディスクへの書き込みは BitLocker により暗号化されますので、実際のディスクには暗号化後のデータが書き込まれます。選択した抹消方式で規定された値での書き込みが行われていませんのでご注意ください。

さい。

・NTFSで暗号化されたファイル、フォルダの抹消について

NTFS ファイルシステムで暗号化を行ったファイルやフォルダについても抹消を行うことはできますが、ディスクへの書き込みはNTFS ファイルシステムにより暗号化されますので、実際のディスクには暗号化後のデータが書き込まれます。選択した抹消方式で規定された値での書き込みが行われていませんのでご注意ください。

ファイルを選択して抹消、Ark シュレッターからの抹消について

・抹消できないファイルやフォルダについて

「ファイルを選択して抹消」、「Ark シュレッターからの抹消」において、以下のファイルやフォルダは抹消できません。

- ・起動中の他のプログラムによって使用中のファイル
- ・システムにより予約または保護されているファイル（ゴミ箱を表す「\$Recycle.Bin」など、\$で始まるフォルダ）
- ・NTFS の機能（代替データストリーム、リパーズポイント、スパーズファイル）が施されたファイル

・ショートカットファイルの抹消について

HD 革命 / FileEraser でショートカットファイル (*.lnk)、およびインターネットショートカットファイル (*.url) が抹消対象になった場合、選択したパスのショートカットファイルのみを抹消します。リンク先のファイル・フォルダは抹消されませんのでご注意ください。また、右クリックメニューから抹消を行うことはできませんので、これらのファイルを抹消するには、Ark シュレッターのウィンドウにドロップして抹消してください。

・過去に作成したデータの抹消について

抹消できるのは、現在のデータの保存場所（セクター）となります。ファイルを更新した場合や同名ファイルで上書きした場合などは、新しく別の場所（セクター）にファイルが作成され、過去のデータがハードディスク上の空き領域に残ることがあります。過去のデータが保存されている場所は空き領域として扱われるため、「ファイルを選択して抹消」や「Ark シュレッター」では抹消できません。「空き領域の抹消」を実行してください。

・ハードリンクについて

ハードリンクは1つのファイル実体に複数のパスを割り当てる機能ですが、ハードリンクが施されているファイルの抹消を行うと、選択したパスのファイルが抹消され、他のパスから見た場合も空ファイル(0バイト)となります。

・シンボリックリンク・ジャンクションポイントについて

シンボリックリンク、ジャンクションポイントと呼ばれる特殊なファイルの抹消を行うと、選択したパスのファイルのみを抹消します。リンク先のファイル・フォルダは抹消されませんのでご注意ください。

各抹消機能における注意事項

・履歴の抹消について

インターネットブラウザを使用中は、履歴を抹消することができません。履歴の抹消を行う前に、インターネットブラウザを終了してください。

・ユーザーアカウントの抹消について

ログオン中 (Windows 8 以降はサインイン中) のユーザーアカウントは抹消できません。該当のユーザーアカウントに切り替えて、ログオフ (サインアウト) を行ってください。

Administrator、および Guest アカウントは抹消できません。

・空き領域の抹消について

- ・ 空き領域を抹消中は、ドライブがロックされます。対象のドライブは操作できなくなります。システムドライブなどロックできないドライブの場合、空き領域を「Eraser ファイル抹消」が作成する一時ファイルで占有して抹消を行います。一時的に空き容量がなくなるため、Windows から警告が表示される場合があります。抹消の進行にともなって空き容量が回復しますので、クリーンアップなどの空き容量を増加させる処理は行わないでください。
- ・ 空き領域を抹消可能なファイルシステムは、NTFS/FAT32 となります。その他のファイルシステムのボリューム（ドライブ、パーティション）は、空き領域を抹消できません。

スケジュールを設定して抹消時の動作について

スケジュールを設定して抹消を行う場合は、いくつかの注意事項・制限事項があります。

- ・ 指定した時刻になったときに他の抹消が行われている場合は、後から起動したスケジュール抹消は実行されません。同一種別のスケジュール（履歴の抹消を複数など）を登録する場合は、スケジュールの開始および抹消時間が重ならないように設定してください。
- ・ スケジュール実行時にコンピューターの電源が入っていないような場合は、次回の起動時にスケジュール抹消が実行されますので注意してください。
- ・ 「操作」のスケジュールに限り、複数のスケジュールを登録している場合は選択した操作（ログオフ・再起動・シャットダウン）を行ったときに順番に実行されます。
- ・ 「ファイルを選択して抹消」をスケジュール

で実行する場合、選択したフォルダーの中に含まれるファイル、フォルダーが抹消されます。選択したフォルダー自身は抹消されません。

- ・ スケジュールの設定と実行は、Microsoft Windows の Task Scheduler サービスを利用しています。サービスが動作していない場合は、スケジュールの設定と実行を行うことができません。

ログの出力について

ログファイルとして出力されるテキストファイルまたは PDF ファイルは、文字コードとして UTF-8 を使用しています。PDF ファイルとしてログを出力する場合、UTF-8 で 4 バイト以上を割り当てられた文字を出力することができません。表示できない文字は、半角空白に置き換えられます。

抹消時のエラーについて

ファイル、フォルダーが他のアプリケーションによって使用中であったり、ハードウェアに障害が発生していたりすると、「Eraser ファイル抹消」によるファイル、フォルダーの抹消に失敗します。エラーが発生した場合は、抹消結果画面にエラーコードが記載されます。このエラーコードについては、次ページの表を参照してください。

結果	種類	サイズ	場所
エラー - 32	ファイル	0	D:\Virtual 14.cmyk.zip
エラー - 32	ファイル	0	D:\Release Note.txt
エラー - 32	ファイル	0	D:\index.html

エラーコード表

エラーコード	内 容
2	<p>指定されたファイル・フォルダーが見つかりません。</p> <p>※ 抹消対象のファイル、フォルダーが既に削除されている場合に発生します。</p>
3	<p>指定されたパスが見つかりません。</p> <p>※ 抹消対象を含むフォルダーが抹消時に削除されている場合や、抹消対象フォルダーのフルパスが長すぎる場合に発生します。</p>
5	<p>アクセスが拒否されました。</p> <p>※ 抹消対象が特殊な設定がされているフォルダーの場合や、アクセス権限がないファイル、フォルダーを抹消しようとした場合に発生します。</p>
32	<p>ファイルが使用中です。</p> <p>※ 抹消対象のファイルが使用中の場合に発生します。</p>
111	<p>抹消対象のファイルまたはフォルダーのフルパスが長すぎます。</p> <p>※ ファイルまたはフォルダーのフルパスが 250 文字を超える場合に発生します。ファイル名、またはフォルダー名を変更してフルパスの文字数を減らしてください。</p>
145	<p>フォルダーの削除に失敗しました。</p> <p>※ 抹消対象のフォルダーが使用中の場合や、何らかの理由で抹消できなかったファイル・フォルダーが残っている場合に発生します。</p>
1392	<p>ファイルまたはディレクトリが壊れているため、読み取ることができません。</p> <p>※ ハードウェアに障害が発生しているか、ファイルシステムに破損が発生している場合に発生します。ファイルシステムによるアクセスができないと抹消を実行できません。ドライブのエラーチェックと修復を行うと、抹消できるようになる可能性があります。</p>

ファイルを選択して抹消

「ファイルを選択して抹消」では、抹消したいファイル、フォルダーを画面の中で選択して抹消することができます。

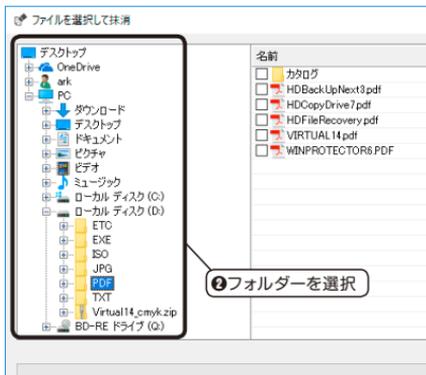
1 「ファイルを選択して抹消」の選択

Arkランチャーで「ファイルを選択して抹消」を選択します。



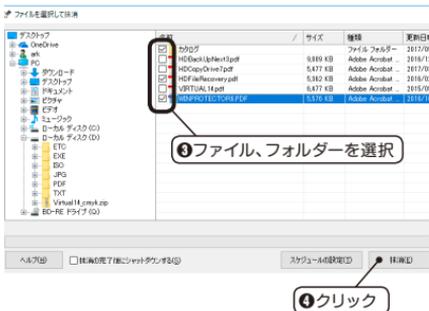
2 フォルダを選択

画面左側のツリーで、抹消するファイルが含まれるフォルダを選択します。



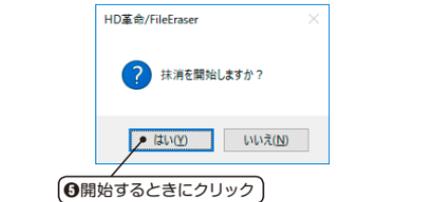
3 抹消するファイル、フォルダを選択

画面右側で、抹消するファイル、フォルダーにチェックを入れ、「抹消」をクリックします。



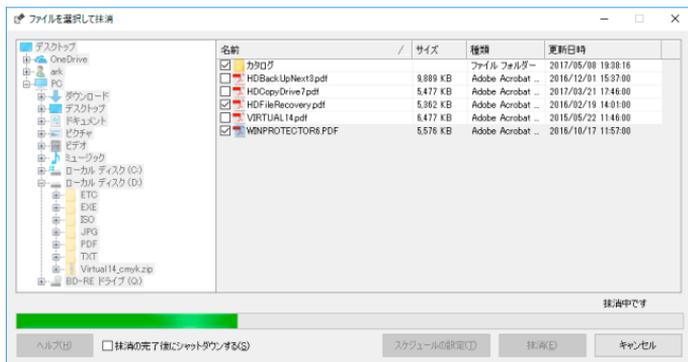
4 確認と開始

抹消を本当に開始するかどうかを確認し、開始します。



- 抹消を開始するとファイル、フォルダーを元に戻すことができません。選択したファイル、フォルダーに間違いがないか、よく確認してから開始してください。

抹消中は画面下に進行状況が表示されます。



「キャンセル」をクリックすると抹消を中断できませんが、既に抹消されたファイル、フォルダーを元の状態に戻すことはできません。

5 抹消の終了

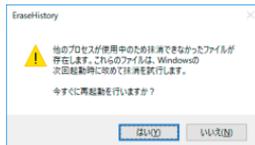
抹消が終了するとログが表示されます。「閉じる」ボタンをクリックすると、「2 フォルダーを選択」画面に戻りますので、他のフォルダーを選択することができます。



Point

「ログの出力」ボタンをクリックすると、抹消したファイル、フォルダーの情報をテキストファイルまたは PDF ファイルとして保存することができます。この画面を閉じてしまうとログファイルを保存することができなくなりますので、ログファイルが必要な場合は「閉じる」をクリックする前に保存するようにしてください。

使用中のファイルや、フォルダーが開かれた状態の間は抹消ができません。使用中のファイルや特定のエラーが発生したフォルダーについては、Windows の再起動後に抹消を再試行することができます。「オプション設定」で「使用中で抹消できないファイルを再起動後に抹消する」を有効にしてください。



なお、「ログオン時に Ark シュレッダーを表示する」を有効にしていると、再起動に抹消を行ったファイル、フォルダーに関する抹消結果画面が表示されます。



※ 再起動後に抹消を行った場合、ファイル名の後ろに「(Reboot)」が付きます。

Ark シュレッダーでファイルを抹消

「Ark シュレッダー」では、抹消したいファイル、フォルダーを個別に選択して Ark シュレッダーウィンドウにドロップすることで抹消することができます。

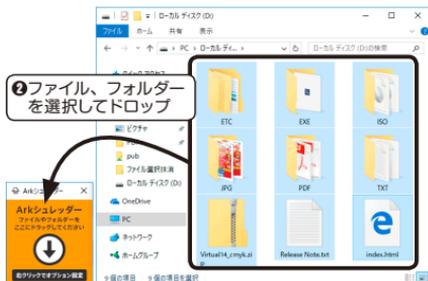
1 「Ark シュレッダー」の選択

Ark ランチャーで「Ark シュレッダー」を選択します。ログオン時に起動する設定にしている場合は、自動的に起動します。



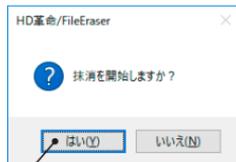
2 Ark シュレッダーウィンドウにファイルをドロップ

デスクトップ上に表示された Ark シュレッダーウィンドウに、抹消したいファイル、フォルダーをドロップします。



3 確認と開始

抹消を本当に開始するかどうかを確認し、「はい」をクリックします。



抹消を開始するとファイル、フォルダーを元に戻すことができません。選択したファイル、フォルダーに間違いがないか、よく確認してから開始してください。

抹消中は Ark シュレッダーウィンドウの表示が「抹消中」に変わります。



4 抹消の終了

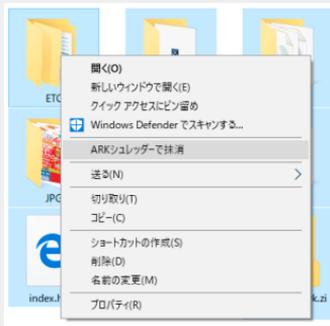
「抹消中」の文字が消えると抹消は終了となります。



右クリックメニューによる抹消

「Eraser ファイル抹消」をインストールすると、「エクスプローラ」の右クリックメニューに「Ark シュレッダーで抹消」が追加されます。

抹消したいファイル、フォルダーを選択して「Ark シュレッダーで抹消」メニューを選択することでも、「Ark シュレッダー」ウィンドウにドロップするのと同様に抹消することができます。



オプション設定

Ark シュレッダーのウィンドウ上で右クリックするとメニューが開き、設定を変更することができます。



抹消方式

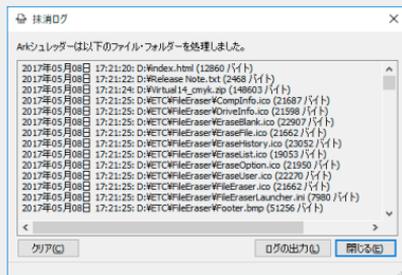
ファイル、フォルダーを抹消する際の抹消方式を変更できます。ここで抹消方式を変更すると「オプション設定」(「ファイル抹消 -21」ページ)の抹消方式が変更され、他の抹消機能でも選択した抹消方式で抹消が行われます。

ログオン時に Ark シュレッダーを表示

この項目を有効にするとログオン時に Ark シュレッダーを自動的に起動します。

ログの表示

Ark シュレッダーで抹消したファイル、フォルダーのログを表示します。抹消エラーが発生した場合は、ログにエラーコードと共に該当ファイルが記載されます。「ログの出力」ボタンをクリックすると、抹消したファイル、フォルダーの情報をテキストファイルまたは PDF ファイルとして保存することができます。



履歴の抹消

「履歴の抹消」では、Windows やインターネットブラウザの履歴を抹消することができます。

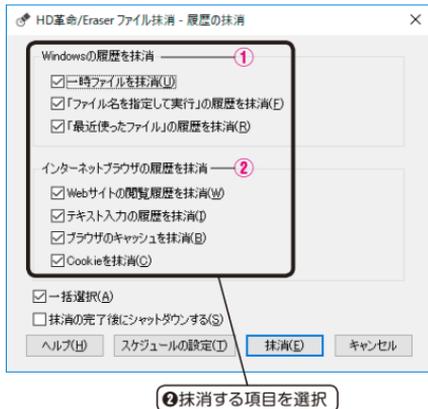
1 「履歴の抹消」の選択

Ark ランチャーで「履歴の抹消」を選択します。



2 抹消する項目を選択

画面の中で、抹消する項目を選択します。



① Windows の履歴を抹消

Windows 上で入力されたテキストや使用したファイルの履歴を抹消できます。

・一時ファイルを抹消

Windows および各アプリケーションは、動作のために一時的に作成するファイルを「一時フォルダー」と呼ばれるフォルダーに保存します。「一時フォルダー」は一定のタイミングで Windows によりクリーンアップ（ファイルの削除）が行われますが、ハードディスクにデータが残ってしまいます。「一時ファイルを抹消」を選択すると、「一時フォルダー」に保存されているデータを抹消します。

抹消対象のフォルダーは、Windows の環境変数「TEMP」「TMP」で指定されているフォルダーとなります（デフォルトでは、「C:/Users/[ログオン中のユーザーアカウント名]/AppData/Local/Temp」）。

・「ファイル名を指定して実行」の履歴を抹消

Windows の「ファイル名を指定して実行」は、それまでに入力したファイル名を履歴として参照できます。「ファイル名を指定して実行」の履歴を抹消」を選択すると、ファイル名の履歴を抹消します。

・「最近使ったファイル」の履歴を抹消

Windows は、ユーザーが使用したファイルへのショートカットを履歴として保存します。「最近使ったファイル」の履歴を抹消」を選択すると、最近使ったファイルの履歴を抹消します。

② インターネットブラウザの履歴を抹消

「Microsoft Internet Explorer」「Mozilla Firefox」「Google Chrome」「Microsoft Edge」の履歴が抹消対象となります。その他のインターネットブラウザには非対応となります。また、複数のインターネットブラウザをインストールしている場合、すべてのインターネットブラウザに対し、選択した項目の抹消を行います。

・ Web サイトの閲覧履歴を抹消

過去に閲覧した Web サイトの履歴を抹消します。

・ テキスト入力の履歴を抹消

Web サイトのテキストボックスに入力したユーザー名や住所などのテキストで、インターネットブラウザに保存されている履歴を抹消します。抹消を行うと、過去に入力した内容が表示されなくなるため、再度入力が必要となります。

・ ブラウザのキャッシュを抹消

インターネットブラウザが保存している Web サイトの表示を高速化するためのテキストや画像データのキャッシュを抹消します。抹消を行うと、ページのデータを改めて読み込むため、表示に時間がかかります。

・ Cookie を抹消

通販サイトなどで利用されている、Web サイトの閲覧者の情報をコンピューターに一時的に記録するための Cookie（情報ファイル）を抹消します。Web サイトで使用するためのユーザー名やパスワードが Cookie に保存されていた場合は、再度入力が必要となります。

3

確認と開始

抹消を本当に開始するかどうかを確認し、開始します。

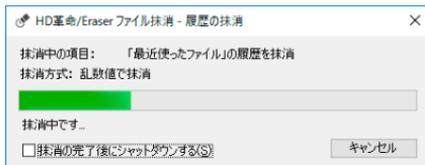


③開始するときに
クリック



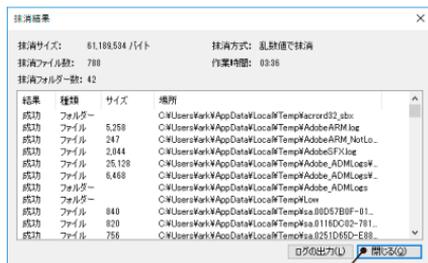
- 抹消を開始すると選択した項目で使用している
- ファイル、フォルダーを元に戻すことができません。
- 必要な情報が残っていないか、よく確認してから開始してください。

抹消中は進行状況が表示されます。



- 「キャンセル」をクリックすると抹消を中断できますが、既に抹消されたファイル、フォルダーを元の状態に戻すことはできません。

抹消が終了するとログが表示されます。



抹消結果

抹消サイズ: 61,108,504 バイト 抹消方式: 乱数値で抹消
抹消ファイル数: 780 作業時間: 00:36
抹消フォルダ数: 42

結果	種類	サイズ	場所
成功	フォルダー		C:\Users\Kank\AppData\Local\Temp\acrcrd32.abr
成功	ファイル	5,258	C:\Users\Kank\AppData\Local\Temp\AdobeARM.exe
成功	ファイル	247	C:\Users\Kank\AppData\Local\Temp\AdobeARM_NotLo...
成功	ファイル	2,044	C:\Users\Kank\AppData\Local\Temp\AdobeSFX.log
成功	ファイル	25,128	C:\Users\Kank\AppData\Local\Temp\Adobe_ADMLogs#....
成功	ファイル	6,468	C:\Users\Kank\AppData\Local\Temp\Adobe_ADMLogs#....
成功	フォルダー		C:\Users\Kank\AppData\Local\Temp\Adobe_ADMLogs...
成功	フォルダー		C:\Users\Kank\AppData\Local\Temp\Low
成功	ファイル	840	C:\Users\Kank\AppData\Local\Temp\za00057B8F-01...
成功	ファイル	820	C:\Users\Kank\AppData\Local\Temp\isa.0251D63D-781...
成功	ファイル	756	C:\Users\Kank\AppData\Local\Temp\isa.0251D63D-E88...

ログの出力(L) 閉じる(O)

① クリック

Point

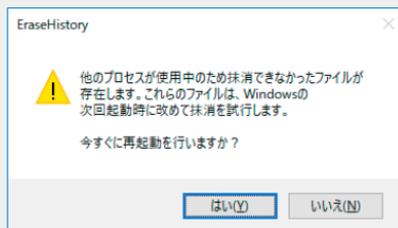
「ログの出力」ボタンをクリックすると、抹消したファイル、フォルダーの情報をテキストファイルまたはPDFファイルとして保存することができます。この画面を閉じてしまうとログファイルを保存することができなくなりますので、ログファイルが必要な場合は「閉じる」をクリックする前に保存するようにしてください。



ブラウザが使用中のファイルの抹消について

「Webサイトの閲覧履歴」と「テキスト入力の履歴」の抹消を行う場合、Microsoft Edgeを含む環境 (Windows 10) では、対象ファイルがログオン中は常にロックされているため抹消できません。使用中で抹消できなかったファイルは、次回のWindows起動時にリネームし、改めて抹消を試みます。ブラウザの履歴を抹消する場合は、オプション設定 (「ファイル抹消-23」ページ) で「使用中で抹消できないファイルを再起動後に抹消する」を有効にした状態で、履歴の抹消を行ってください。

Windowsの再起動を行うと、ログオン後にArkシュレッダーが対象のファイルを自動で抹消します。抹消が完了すると、Arkシュレッダーが起動している場合は抹消結果画面が表示されます。Arkシュレッダーが起動していない場合、抹消結果画面は表示されません。

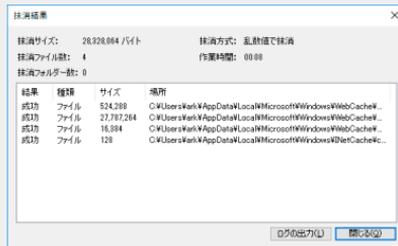


EraseHistory

⚠ 他のプロセスが使用中のため抹消できなかったファイルが存在します。これらのファイルは、Windowsの次回起動時に改めて抹消を試みます。

今すぐに再起動を行いますか？

はい(Y) いいえ(N)



抹消結果

抹消サイズ: 26,828,064 バイト 抹消方式: 乱数値で抹消
抹消ファイル数: 4 作業時間: 00:08
抹消フォルダ数: 0

結果	種類	サイズ	場所
成功	ファイル	524,288	C:\Users\Kank\AppData\Local\Microsoft\Windows\WebCache#...
成功	ファイル	27,787,204	C:\Users\Kank\AppData\Local\Microsoft\Windows\WebCache#...
成功	ファイル	16,384	C:\Users\Kank\AppData\Local\Microsoft\Windows\WebCache#...
成功	ファイル	128	C:\Users\Kank\AppData\Local\Microsoft\Windows\WebCache#...

ログの出力(L) 閉じる(O)

① クリック

ユーザーアカウントの抹消

「ユーザーアカウントの抹消」では、コンピューターに登録されているユーザーアカウントを抹消できます。ただし、「Administrator」、「Guest」、現在ログオン中のユーザーアカウントは抹消できません。

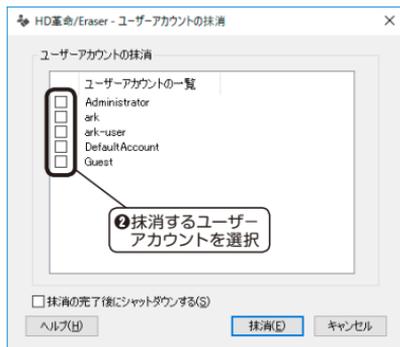
1 「ユーザーアカウントの抹消」の選択

Ark ランチャーで「ユーザーアカウントの抹消」を選択します。



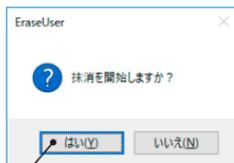
2 抹消する項目を選択

画面の中で、抹消するユーザーアカウントを選択します。



3 確認と開始

抹消を本当に開始するかどうかを確認し、開始します。



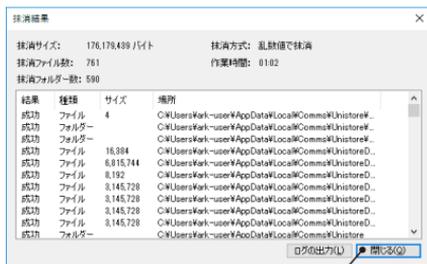
- ⚠ 抹消を開始するとそのアカウントでログオン（サインイン）できなくなります。
- ⚠ 選択したアカウントに間違いがないか、よく確認してから開始してください。

抹消中は進行状況が表示されます。



- ⚠ 「キャンセル」をクリックすると抹消を中断できますが、既に抹消されたファイル、フォルダを元の状態に戻すことはできません。

抹消が終了するとログが表示されます。



① クリック

Point

「ログの出力」ボタンをクリックすると、抹消したファイル、フォルダーの情報をテキストファイルまたはPDFファイルとして保存することができます。この画面を閉じてしまうとログファイルを保存することができなくなりますので、ログファイルが必要な場合は「閉じる」をクリックする前に保存するようにしてください。

ディスクの空き領域の抹消

「ディスク空き領域の抹消」では、ディスク上でファイル、フォルダーが使用していない領域（空き領域）を抹消することができます。

1 「ディスク空き領域の抹消」の選択

Arkランチャーで「ディスク空き領域の抹消」を選択します。



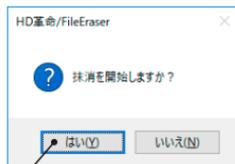
2 抹消する項目を選択

表示されているボリューム（ドライブ）の中から、空き領域を抹消するボリュームを選択します。複数のボリュームを同時に選択することはできません。



3 確認と開始

抹消を本当に開始するかどうかを確認し、開始します。



③開始するときをクリック



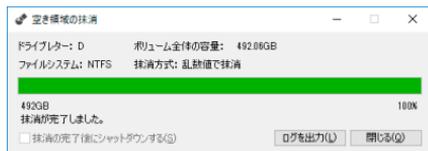
- システムドライブなどロックできないドライブの場合、空き領域を一時ファイルで占有して抹消を行います。
- 一時的に空き容量がなくなるため Windows から警告メッセージが表示される場合がありますが、抹消が完了するまでお待ちください。

抹消中は進行状況が表示されます。



- 「キャンセル」をクリックすると抹消を中断できますが、既に抹消されたファイル、フォルダーを元の状態に戻すことはできません。

進行状況が 100% となると空き領域の抹消は完了となります。



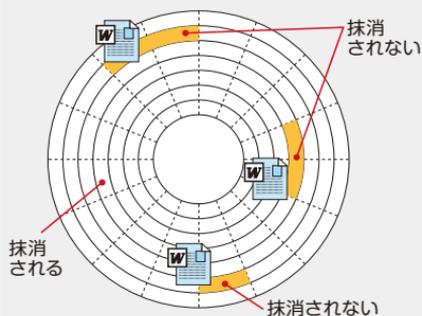
Point

「ログの出力」ボタンをクリックすると、抹消したファイル、フォルダーの情報をテキストファイルまたは PDF ファイルとして保存することができます。この画面を閉じてしまうとログファイルを保存することができなくなりますので、ログファイルが必要な場合は「閉じる」をクリックする前に保存するようにしてください。



ディスクの空き領域について

「空き領域の抹消」では、ハードディスクの中でファイルが存在しない領域を抹消します。下のイメージ図のように、ファイルが置かれている領域以外の領域が「空き領域」となります。



ハードディスクのイメージ図

スケジュールの設定

各抹消の操作画面で「スケジュールの設定」ボタンをクリックすると、スケジュールの設定画面が表示されます。スケジュールを設定すると、Windowsの「タスク スケジューラ」にスケジュールが登録され、指定したタイミングで抹消を行うことができます。

1 「スケジュールの設定」を選択

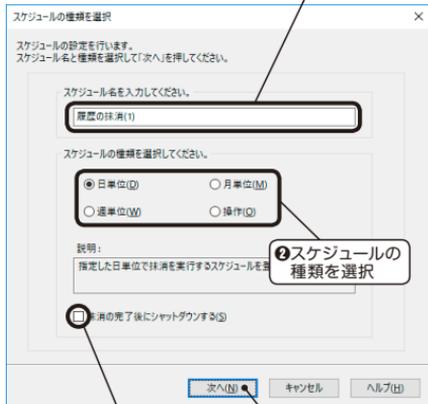
抹消の操作画面で「スケジュールの設定」ボタンをクリックします。



2 スケジュールの種類を選択

スケジュールの名前と抹消を行うスケジュールの種類を設定します。

スケジュール名を変更できます。ここで入力した名前は「タスク スケジューラ」の名前として登録されます。



抹消が完了したらコンピューターをシャットダウンする場合にチェックを入れます。

3 スケジュールの詳細を設定

スケジュールの種類に応じ、各設定を行います。

●日単位のスケジュール

抹消の開始日と開始時刻、抹消を実行する日（「毎日」、「平日」、「間隔（1日（毎日）～365日（1年ごと）の範囲）」のいずれか）を設定します。



●週単位のスケジュール

抹消の開始日と開始時刻、抹消を実行する間隔（1週（毎週）～52週（1年ごと）の範囲）と曜日を設定します。

週単位のスケジュール設定

「週単位」でのスケジュール設定を行います。
抹消を開始する日時と曜日を選択して、「登録」を押してください。

抹消の開始日時を設定してください。

開始日: 05/25 開始時刻: 13:17:43

抹消を実行する週の間隔を設定してください。

間隔: 1 週間に一回実行

抹消を実行する曜日を設定してください。

月(月) 火(火) 水(水) 木(木)
金(金) 土(土) 日(日)

< 戻る(B) 登録(R) キャンセル ヘルプ(H)

①設定後にクリック

●操作のスケジュール

現在ログオンしているユーザーが「ログオフ」、「再起動」、「シャットダウン」操作のいずれかを行ったときに抹消が実行されます。

操作のスケジュール設定

「操作」でのスケジュール設定を行います。
抹消を開始する操作を選択して、「登録」を押してください。

抹消を実行する操作を選択してください。

ログオフ(O)
再起動(R)
シャットダウン(S)

説明:
抹消を実行する操作を選択してください。

< 戻る(B) 登録(R) キャンセル ヘルプ(H)

①設定後にクリック

●月単位のスケジュール

抹消の開始日と開始時刻、抹消を実行する月と日を設定します。

月単位のスケジュール設定

「月単位」でのスケジュール設定を行います。
抹消を開始する日時と月日を選択して、「登録」を押してください。

抹消の開始日時を設定してください。

開始日: 05/25 開始時刻: 13:18:12

抹消を実行する月を設定してください。

1月(月) 2月(月) 3月(月) 4月(月) 5月(月) 6月(月)
7月(月) 8月(月) 9月(月) 10月(月) 11月(月) 12月(月)

抹消を実行する日を設定してください。

1 5 9 13 17 21 25 29
2 6 10 14 18 22 26 30
3 7 11 15 19 23 27 31
4 8 12 16 20 24 28 全て選択(Y)

< 戻る(B) 登録(R) キャンセル ヘルプ(H)

①設定後にクリック

4

登録の完了

登録が完了するとメッセージが表示されます。

HD革命/Eraser - スケジュール設定

1 スケジュールの登録が完了しました。

OK

①クリック

Point

登録したスケジュールを削除は、「オプション設定」の「スケジュールの削除」(「ファイル抹消 -22」ページ)で行います。

オプション設定

オプション設定画面では、抹消方式やスケジュール、ログに関する設定を行います。

1 「オプション設定」の選択

Ark ランチャーで「便利ツール」→「オプション設定」を選択します。



2 オプションを設定

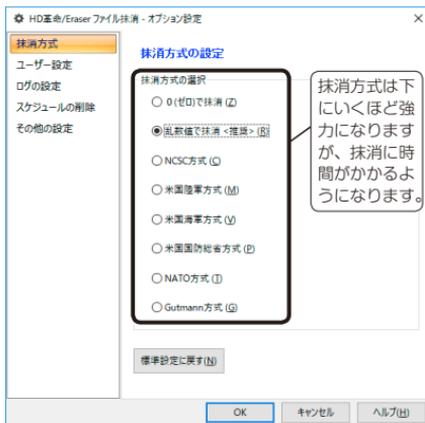
「オプション設定」では、抹消方式やスケジュール、ログにおける設定を行います。

●抹消方式

抹消を行うときに使用する抹消方式を選択します。

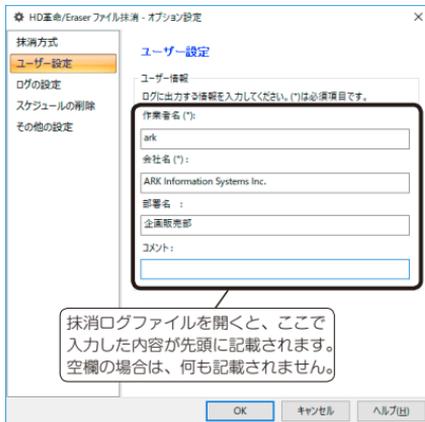
「ファイルを選択して抹消」や「履歴抹消」などの各抹消機能は、ここで設定されている抹消方式で対象ファイルが抹消されます。

この設定は「Ark シュレッダー」と共通となり、「オプション設定」で変更すると「Ark シュレッダー」の設定も変更され、逆の場合も同じとなります。各抹消方式については〈参考資料-2〉ページを参照してください。



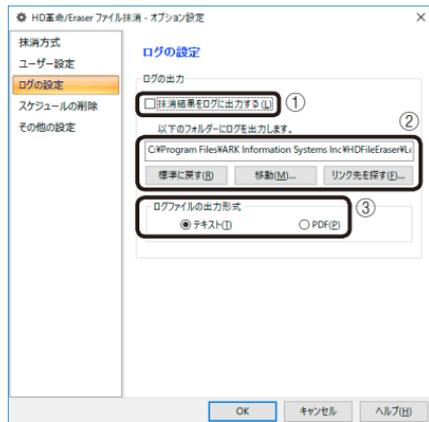
●ユーザー設定

抹消ログを出力するときに、ファイル内に記載する情報を設定します。「作業者名」、「会社名」、「部署名」、「コメント」の項目について、情報を入力してください。



●ログの設定

抹消ログの出力に関する設定を行います。



①抹消結果をログに出力する

抹消終了後にログを自動的に出力します。自動で出力されるログのファイル名は「<開始した日付>-<開始した時刻>-<抹消の種類>」(例：20170511-120330_ファイル抹消.txt)となります。

②ログの出力先フォルダーの指定

抹消ログを出力するフォルダーを指定します。標準の保存先は、「Eraser ファイル抹消」のインストール先フォルダー (C:/Program Files/Ark Information Systems Inc/HDFFileEraser/) の下にある「Log」フォルダーとなります。

③ログファイルの出力形式

抹消ログを出力する際のファイル形式を「テキスト」または「PDF」から選択します。ログファイルは UTF-8 の文字コードで出力されます。



作成されるログファイルの例

ログファイルには、「ユーザー設定」で入力した内容の下に、抹消時間やサイズ、抹消したファイル、フォルダーの情報が記載されます。

HD 革命 /Eraser ファイル抹消 Version 6 抹消ログ

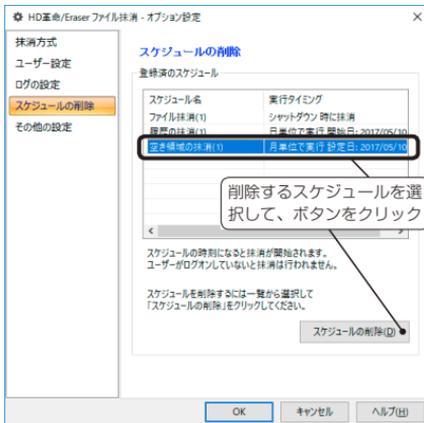
種別：ファイルを選択して抹消
作業者：ark
会社名：ARK Information Systems Inc.
部門名：企画販売部

抹消方式：乱数値で抹消
抹消時間：01:32
開始日時：2017年05月11日 12:03:31
終了日時：2017年05月11日 12:05:03
実行アカウント：ark
抹消サイズ：6,996,323,747 バイト
抹消フォルダー数：9
抹消ファイル数：196

[選択したファイル・フォルダー]
D:*****.zip
D:*****
:
[抹消したファイル]
D:*****.zip (148,603 バイト)
D:*****.txt (2,468 バイト)
:

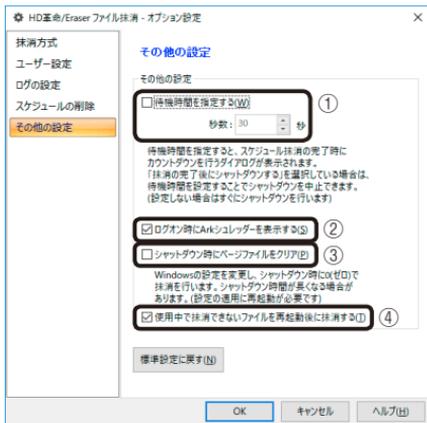
●スケジュールの削除

「スケジュールの削除」では、各抹消機能で作成したスケジュールの一覧が表示されます。スケジュールの削除はこの画面で行います。



●その他の設定

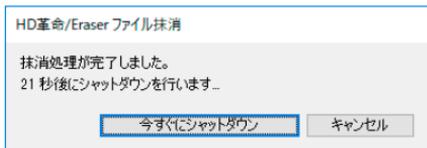
「その他の設定」では、待機時間、Ark シュレッターウィンドウの表示、ページファイルのクリアなどについて設定できます。



①待機時間を設定する

各抹消機能で「抹消後にシャットダウンを行う」を有効にした場合、抹消が完了するとすぐにシャットダウンが開始します。

ここで待機時間を指定しておくことで、シャットダウンの前にカウントダウンを行うダイアログが表示されるようになります。カウントダウンが終了する前に「キャンセル」ボタンをクリックすると、シャットダウンを中止できます。待機時間を指定しない場合、シャットダウンはキャンセルできません。



②ログオン時に Ark シュレッターを表示する

このオプションが有効の場合、ログオン時(サインイン時)に Ark シュレッターウィンドウが表示されます。

Ark シュレッターは、Ark ランチャーからも起動することができます。



③シャットダウン時にページファイルをクリア

このオプションを有効にすると、Windows がシャットダウンするときページファイルをクリアするよう設定を変更します。

設定を適用するには再起動が必要です。ページファイルの容量によっては、シャットダウンまでに長時間かかる場合があります。



- ・このオプションでは、「Eraser ファイル抹消」ではなく、Windows の機能によりページファイルの消去を実施します。「Eraser ファイル抹消」で指定する抹消方式の設定は反映されません。
- ・このオプションを有効にした状態で「Eraser ファイル抹消」をアンインストールすると、ページファイルをクリアする設定(「ClearPageFileAtShutdown」のレジストリキー)が有効なままとなってしまいますのでご注意ください。

④使用中で抹消できないファイルを再起動後に抹消する

このオプションを有効にすると、Windows や他のアプリケーションで使用中のために抹消できなかったファイルを、次の Windows 起動時に抹消します。ただし、一部のシステムファイルは抹消できません。

Windows を再起動してログオンすると、Ark シュレッターにより抹消が開始されます。このオプションが無効の場合、使用中のファイルは抹消されずに残ります。

HD 革命 /Eraser パソコン完全抹消

HD 革命 /Eraser ファイル抹消

共通機能



ここでは、サポート時に使用するツールとアップデートのダウンロードを行うためのツールについて説明しています。

ドライブ情報の取得

コンピューターに接続してあるハードディスクドライブの情報を取得し、表示することができます。

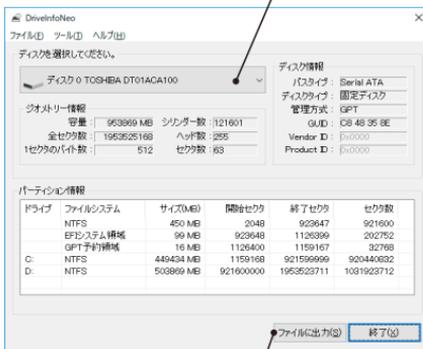
1 「ドライブ情報の取得」を選択

Ark ランチャーで「便利ツール」→「ドライブ情報の取得」を選択します。



2 ドライブ情報の取得

③ 情報を表示させたいディスクを選択



Point

「ツール」メニューを開き、Windowsの起動に関わる情報（GUID、MBR）を操作することができますが、Windowsの状態に問題がないときは使用しないでください。

コンピューター情報の取得

コンピューターに関する情報を取得し、表示することができます。

1 「コンピューター情報の取得」を選択

Ark ランチャーで「便利ツール」→「コンピューター情報の取得」を選択します。



2 コンピューター情報の取得

③各タブをクリックして各情報を表示

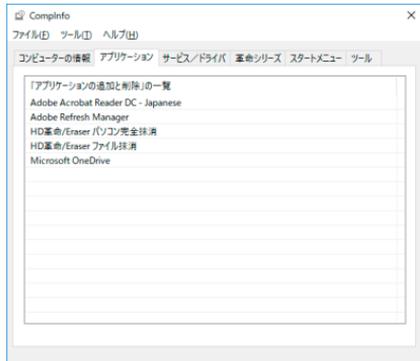


Point

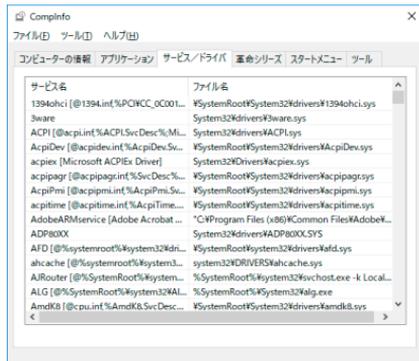
「スタートメニュー」タブでチェックしたメニューを Windows のデスクトップに作成することができます。「ツール」タブで「ディスクの管理」「タスクスケジューラ」ほかの Windows の機能を呼び出すことができます。



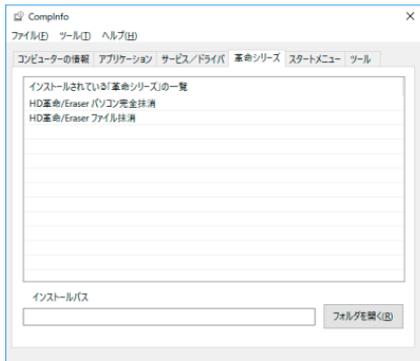
「コンピュータの情報」タブ



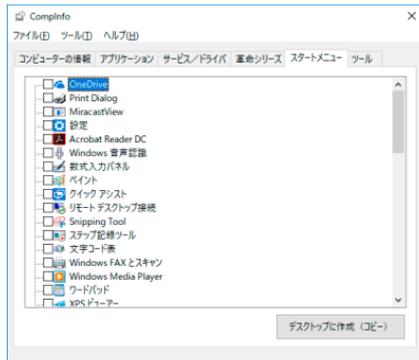
「アプリケーション」タブ



「サービス/ドライバ」タブ



「革命シリーズ」タブ



「スタートメニュー」タブ



「ツール」タブ

アップデートの確認

インターネットに接続できる環境にある場合、製品によっては起動時に「更新確認ツール」が起動することがあります。この場合、製品の最新アップデートが公開されていますので、「更新確認ツール」からアップデートのダウンロードとインストールを行うことができます。アップデートのダウンロードを行うには、製品の登録が必要です。

弊社製品の登録と「更新確認ツール」について

●弊社製品を初めて登録する場合

弊社製品を初めてユーザー登録する場合は、「更新確認ツール」で入力したメールアドレスがそのまま新規のユーザーIDとして登録されますので、間違いがないように確認いただき入力してください。なお、「更新確認ツール」によるユーザー登録は「仮登録」の状態となり、メールアドレス、パスワード、シリアルナンバーのみが登録されます。

「仮登録」の状態は、アップデートのダウンロードは可能ですが、サポートへの問い合わせやオンラインショップでの優待販売等のサービスがご利用いただけません。

弊社 Web サイト (<http://www1.ark-info->



「更新確認ツール」で登録を行うと、入力したメールアドレス宛に「自動更新の手続き完了のお知らせ」という件名でメールが送信されます。このメールが届いていない場合は、入力したメールアドレスが間違っている可能性があります。「本登録」には、「更新確認ツール」で入力したメールアドレスとパスワードの入力が必要となりますので、メールアドレスの間違いにより「本登録」が行えない場合は、シリアルナンバーをご用意いただき、ユーザーサポートまでご連絡ください。

sys.co.jp/user/package/index.html) にて残りの項目を入力して「本登録」を行ってください。「本登録」を行う場合は、「すでにご登録済みの方」で「製品追加登録」から、「仮登録」で入力したメールアドレス、パスワードを入力して登録を行ってください。

●すでに弊社の他製品や他バージョンで登録いただいている場合

すでにユーザー登録されている場合は、登録されているメールアドレスとパスワードを入力することで製品の追加登録を行います。

ユーザー登録されているメールアドレスと異なるメールアドレスを入力した場合は、別のユーザーIDとして登録されます。この場合、前述の「弊社製品を初めて登録する場合」と同様となります。



アップデートのダウンロードや優待販売は、登録したシリアル番号とメールアドレス、パスワードが一致しないとご利用いただくことができません。問題がなければ、「更新確認ツール」の画面ですでにユーザー登録しているメールアドレスとパスワードを入力し、同じユーザーIDへの製品追加登録という形にしてください。

「更新確認ツール」による登録と確認の流れ

1 更新確認ツール

「更新確認ツール」でメールアドレスとパスワードを入力します。

製品をご利用いただきありがとうございます。①メールアドレスとパスワードを入力

製品名:

ユーザ登録情報

ユーザID(メールアドレス)

パスワード

パスワード(確認用)

シリアル番号

②入力後にクリック

ユーザIDにはメールアドレス(6~60文字)を入力してください。
パスワードは半角英数字6~18文字です。

弊社WEBにて「ユーザ登録」がお済みの場合にはユーザ登録したユーザIDを入力してください。確認のメールを「ユーザID」欄宛にお送りしますので、スペル間違いなど無いようお願いいたします。

2 更新処理への移動

登録が終了するとメッセージが表示されますので、「OK」をクリックします。

AutoUpper

レジストリ登録が完了しました。更新処理に移動します。

③クリック

3 更新処理

画面が変わりますので、「更新」をクリックします。

更新確認ツール

ユーザ登録情報

ユーザID

パスワード

シリアル番号

更新データ問合せ完了

更新データがあります。更新を行う場合は「更新」ボタンを押してください。

④クリック

4 ダウンロードとインストール

アップデートファイルが自動的にダウンロードされ、アップデートのインストールが開始されます。

Point

「更新確認ツール」は、Ark ランチャーの「サポート情報」→「アップデートの確認」から起動することができます。



なお、アップデートが存在しない場合は、「更新確認ツール」が表示され、「OK」をクリックすると「更新確認ツール」が終了します。

更新確認プログラム

更新データがありませんでした。終了します。

HD 革命 /Eraser パソコン完全抹消

HD 革命 /Eraser ファイル抹消

参考資料



「Eraser パソコン完全抹消」「Eraser ファイル抹消」をお使いいただく上で参考となる資料を掲載しています。

抹消方式について

HD 革命 / Eraser では次の抹消方式を用意しており、その中から選択してハードディスクのデータの抹消を行うことができます。

MBR の抹消

書き込み回数：1 回、抹消レベル：最低

ハードディスクの先頭にある MBR（マスターブートレコード）のみ抹消します。パーティションは削除されますが、ディスク全体を抹消する方式ではないので、データは完全には抹消されません。

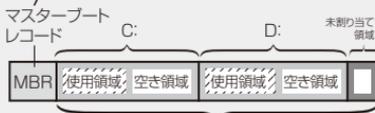
また、リカバリー領域がハードディスクにある場合は、MBR の抹消を行うとリカバリーができなくなります。ご注意ください。



MBR の抹消について

MBR とは Master Boot Record（マスターブートレコード）の略で、ハードディスクの先頭にあるセクタのことをいいます。MBR にはパーティションの大きさや OS が起動するための情報が記録されているため、ここを抹消するだけで、あたかもディスクが抹消されたように見えます。先頭部分しか抹消しないためすぐに抹消が終了しますが、データを完全に抹消する方式ではないため、データの復元ができてしまいます。完全に抹消をしたい場合は他の抹消方式を選択してください。

「MBR の抹消」では、この部分のみを抹消します。



「MBR の抹消」を行うとパーティションは見えなくなりますが、この部分のデータはそのまま残っています。

0（ゼロ）で抹消

書き込み回数：1 回、抹消レベル：低

各クラスタに 0（ゼロ）を書き込みます。抹消レベルは低くなりますが、抹消時間は最も早くなります。

ソフトウェアによるデータの復旧はできませんが、残留磁気を読み取る装置では復旧できる可能性があります。

乱数値で抹消

書き込み回数：1 回、抹消レベル：低

各クラスタに乱数を書き込みます。「0（ゼロ）で抹消」より少し抹消レベルが高く、比較的短時間で抹消することができます。

ソフトウェアによるデータの復旧はできないので重要機密情報を扱う場合以外はお勧めです。残留磁気を読み取る装置では復旧できる可能性があります。



抹消時間について

抹消時間は、お使いの環境（BIOS、OS、チップセット、書き込み速度、ディスクサイズなど）や選択した抹消方式によって異なります。数分で終わる場合もあれば、数時間から数十時間かかることもあります。

NCSC 方式

書き込み回数：3回、抹消レベル：中

National Cybersecurity Center(NCSC)で定められた抹消方式です。最初に各クラスタに固定値1(0x00)を書き込み、次にその補数(0xFF)で上書きし、最後に固定値2(0x77)で上書きします。

ソフトウェアによるデータの復旧はできません。残留磁気を読み取る装置での復旧の可能性も低い方式です。

米国陸軍方式

書き込み回数：3回、抹消レベル：中

米国陸軍で定められた抹消方式です。最初に各クラスタに乱数を書き込み、次に固定値(0xFF)で上書きし、最後にその補数(0x00)で上書きします。

ソフトウェアによるデータの復旧はできません。残留磁気を読み取る装置での復旧の可能性も低い方式です。

米国海軍方式 (MFM)

書き込み回数：3回、抹消レベル：中

米国海軍で定められた抹消方式 (NAVSO P-5239-26: MFM) です。最初に各クラスタに固定値(0x01)を書き込み、次に固定値(0x7FFFFFFF)で上書きし、最後に乱数で上書きした後に書き込み検証を行います。

ソフトウェアによるデータの復旧はできません。残留磁気を読み取る装置での復旧の可能性も低い方式です。

米国海軍方式 (RLL)

書き込み回数：3回、抹消レベル：中

米国海軍で定められた抹消方式 (NAVSO P-5239-26: RLL) です。最初に各クラスタに固定値(0x01)を書き込み、次に固定値(0x27FFFFFF)で上書きし、最後に乱数で上書きした後に書き込み検証を行います。

ソフトウェアによるデータの復旧はできません。残留磁気を読み取る装置での復旧の可能性も低い方式です。

米国海軍方式 (AAM)

書き込み回数：3回、抹消レベル：中

米国海軍で定められた抹消方式 (NAVSO P-5239-26) です。代替方式 (An Alternate Method) と記述される抹消方式です。最初に各クラスタに固定値(0x88)を書き込み、次にその補数(0x77)で上書きし、最後に乱数で上書きした後に書き込み検証を行います。

ソフトウェアによるデータの復旧はできません。残留磁気を読み取る装置での復旧の可能性も低い方式です。

米国防総省方式

書き込み回数：3回、抹消レベル：中

米国防総省 (ペンタゴン) で定められた抹消方式です。最初に各クラスタに固定値(0xFF)を書き込み、次にその補数(0x00)で上書きし、最後に乱数で上書きした後に書き込み検証を行います。

ソフトウェアによるデータの復旧はできません。残留磁気を読み取る装置での復旧の可能性も低い方式です。

NATO 方式

書き込み回数：7回、抹消レベル：高

北大西洋条約機構 (NATO) で定められた抹消方式です。固定値 1 (0x00) と固定値 2 (0xFF) を交互に計 6 回上書きし、最後に乱数で上書きします。

ソフトウェアによるデータの復旧はできません。残留磁気を読み取る装置での復旧の可能性も低い方式です。

GUTMANN 方式

書き込み回数：35回、抹消レベル：高

コンピューター科学者・グートマン (Peter Gutmann) 博士によって提唱された抹消方式です。乱数を 4 回書き込んだ後に、固定値 2 7 回 (0x55, 0xAA, 0x924924, 0x492492, 0x249249, 0x00, 0x11, 0x22, 0x33, 0x44, 0x55, 0x66, 0x77, 0x88, 0x99, 0xAA, 0xBB, 0xCC, 0xDD, 0xEE, 0xFF, 0x924924, 0x492492, 0x249249, 0x6DB6DB, 0xB6DB6D, 0xDB6DB6) で上書きし、再度乱数を 4 回上書きします。

ソフトウェアによるデータの復旧はできません。残留磁気を読み取る装置での復旧の可能性も低い方式です。



- ハードディスクやメディアを抹消すると、元に戻元できませんのでディスク、パーティションの選択を間違えないようにしてください。
- 安全のために、抹消するハードディスク以外は接続を外すか電源を切るようにしてください。



抹消方式と残留磁気

HD 革命 /Eraser では、特定の方式でハードディスクに値を書き込むことで、データを復旧不可能な状態にします。抹消レベルが高い抹消方式ほどデータの復旧が困難になります。

しかし、ハードディスクは磁気によりデータが記録されていますので、抹消を行ってもハードディスク上にはごく僅かな磁気は残ってしまいます。この磁気のことを残留磁気といいますが、残留磁気を読み込んでデータを復旧する特殊な装置は一般には手に入りません。また、例え特殊な装置を手に入れたとしても、レベルが高い抹消方式であれば、データの復旧はほぼ不可能です。

抹消方式はいくつか用意されていますが、通常、0 (ゼロ) や乱数で 1 回抹消を行えば、データ復旧ソフトでの復旧はできませんので十分といえます。



ハードディスクが認識されない場合

HD 革命 /Eraser で抹消を行うには、ハードディスクが認識され、正常に動作していなければなりません。

接続しても認識されず、動作しないハードディスクは抹消できません。

ディスクの初期化とパーティションの作成

1 ディスクの初期化

初期化したいハードディスクを接続し、「ディスクの管理」を起動します。

● Windows 7 の場合

① 「スタート」 をクリックし、「コンピューター」 を右クリック

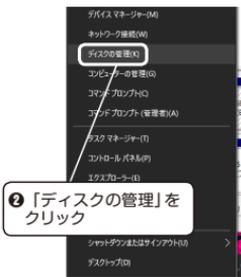


② 「管理」 をクリックの後、コンピューターの管理画面で「ディスクの管理」 をクリック

● Windows 10/8.1/8 の場合



① 画面左下にマウスポインタを移動し、マウスを右クリック (左ではありません)



② 「ディスクの管理」 をクリック

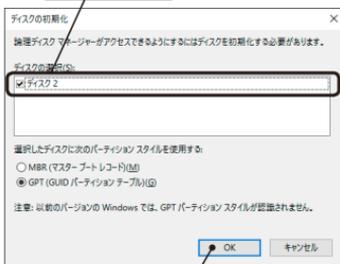


③ 「初期化されていません」 の表示部を右クリック

① 表示されたメニューで「ディスクの初期化」 をクリック



③ ディスクを選択



④ 「OK」 をクリックすると、初期化が開始

2 パーティションの作成

初期化に続いて、「ディスクの管理」 からパーティションを作成することができます。

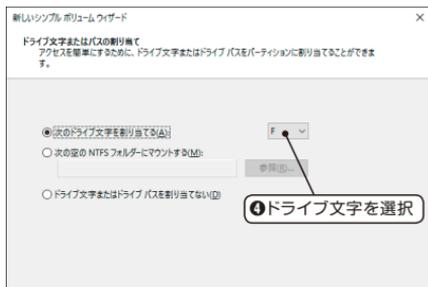
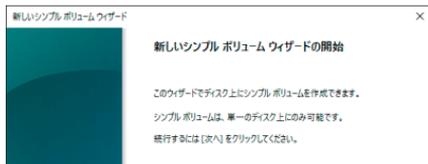


① 「未割り当て」 を右クリック



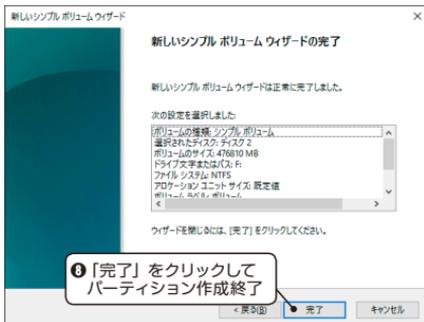
② 「新しいシンプルボリューム」 をクリック

「新しいシンプル ボリューム ウィザード」が起動します。



Point

サイズが 32GB 以上のときは「FAT32」は選択できません。
「クイックフォーマットする」にチェックを入れると、フォーマット時間を短縮できます。



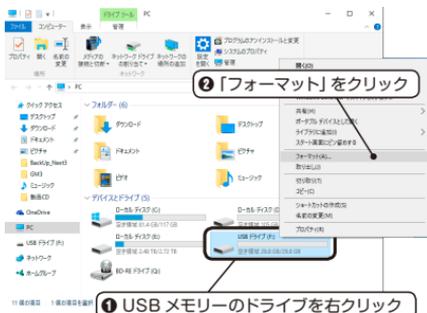
「フォーマット中」と表示されている間は、パーティション操作はせずに、終了するまでお待ちください。

USBメモリーのフォーマット

USBメモリーをフォーマットするには、以下の操作を行います。

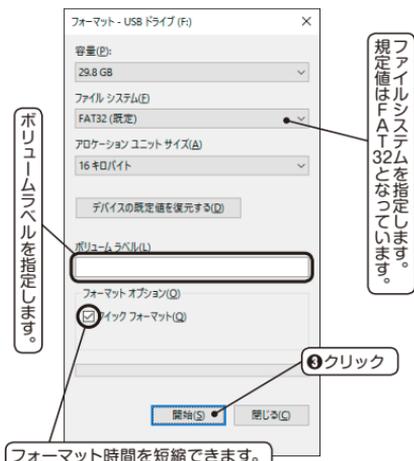
1 USBメモリーの選択

コンピュータ（マイ コンピュータ）でUSBメモリーのドライブを右クリックします。



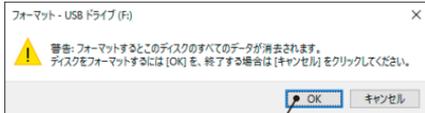
2 オプションの選択

オプションを指定して「開始」をクリックします。

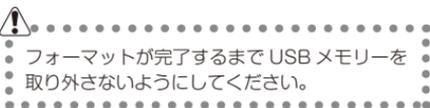
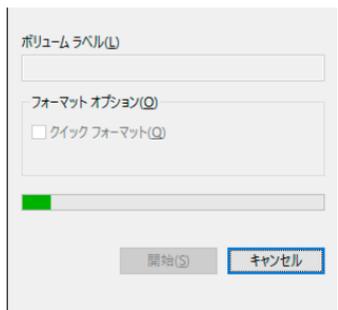


3 USBメモリーのフォーマット

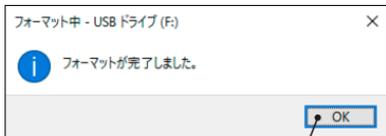
フォーマット開始前に確認メッセージが表示されます。



フォーマット中は進行状況が表示されます。



「OK」をクリックして、フォーマットが完了です。



ユーザーサポートのご利用にあたって

お問い合わせにあたって

①操作方法・トラブル内容について調べる

インターネット接続が可能な場合は、FAQ（よくあるお問い合わせ）をご覧ください。操作上の注意点、トラブル内容と対処方法などが記載されています。

<http://www1.ark-info-sys.co.jp/support/index.html>

②アップデートをダウンロードする

最新アップデートを適用することにより、改善する場合があります。下記からダウンロード

してください。

<http://www1.ark-info-sys.co.jp/download/index.html>

③弊社サポートへ問い合わせる

上記によっても解決しないときは、弊社ユーザーサポートまでお問い合わせください。

■ TEL : 03-3234-9251（祝祭日・弊社休業日を除く月曜から金曜日の10～12時、13～17時）

■ メールフォーム : https://www2.ark-info-sys.co.jp/ARK_N/MailSupport/MainGate.asp

※ お問い合わせには、ユーザー登録を行われたメールアドレスとシリアルナンバーが必要となります。

※ 弊社製品のサポート終了日は、Web サイト (<http://www1.ark-info-sys.co.jp/support/all/lifecycle/index.html>) でご確認ください。

※Microsoft によるサポートが終了した OS に関しては、弊社製品のサポートも終了とさせていただきます。

※ メールフォームへのお問い合わせは、回答に3～5営業日ほどお時間をいただく場合があります。あらかじめご了承ください。

※ 午前中や営業時間終了直前の時間帯は、お問い合わせが集中し電話がつながりにくくなります。その際は、恐れ入りますが時間をずらしてお電話をいただきますようお願いいたします。

※ お客様の個人情報は、弊社情報セキュリティ方針に従い適切な保護を行います。詳しくは弊社 Web サイトをご覧ください。



- 弊社で動作保証している環境以外（自作のコンピューター、ショップメイトのコンピューター、CPU オーバークロック、そのほかハードウェアの改造など）で不具合が発生するケースにおいては、パーツの相性や、デバイスドライバーがその一因となることがあります。
- その場合、すべてのパーツの組み合わせの相性テストは不可能であり、弊社ユーザーサポート環境にて再現性のない場合や、相性により発生していると思われる問題につきましては対応が不可能な場合もあります。ご了承ください。
- 他社製品、シェアウェアなどのパーティション操作ソフトウェア（マルチブートユーティリティなど）との共存は原則としてサポート外とさせていただきます。

ユーザーサポートについて

- 必ずユーザー登録終了後にユーザーサポートをお申し込みください。
- この用紙でユーザー登録はできません。ユーザー登録は弊社 Web サイトからお願いします。
- お電話によるお問い合わせの際は、以下の内容をあらかじめご記入いただき、お問い合わせください。

●お客様のお名前・ご連絡先・対象の製品（※はお電話の際にお伺いします）

- ※お名前：
- ※TEL：
- ※E-Mail アドレス：
- ※ シリアルナンバー（Eraser パソコン完全抹消）：
- ※ シリアルナンバー（Eraser ファイル抹消）：
- 本製品アップデート適用の有無：有・無（Ver.）

●お使いのコンピューターについて（わかる範囲でご記入ください）

- メーカー名：
- 機種名とシリアルナンバー：
- メモリー（RAM）容量：

Windows の種類

- ・ Windows 10 Home / Windows 10 Pro（バージョン OS ビルド）
- ・ Windows 8.1 / Windows 8.1 Pro（8.1 Update の有無 有・無）
- ・ Windows 7 Starter / HomePremium / Professional / Ultimate（SP）
- ・ 32ビット版 / 64ビット版

接続されている周辺機器：

ボード、カードをご利用の場合

- ・ I/F：SCSI、eSATA、RAID、USB2.0、USB3.0、IEEE1394
- その他（ ）
- ・ メーカー、型番、チップセット：

●お使いのソフトウェアについて（わかる範囲でご記入ください）

- インストールされているアプリケーションプログラム：
-
-
-

・本ユーザーズ・マニュアルはPDF ファイルとして提供しており、Adobe Reader（Adobe 社の閲覧ソフトウェア）を使用し、オンラインマニュアルとしてご利用いただくことができます。

・Microsoft[®]、Windows[®]10、Windows[®]8.1、Windows[®]8、Windows[®]7、Windows[®]Vista、Windows[®]XP、Windows PE は米国 Microsoft Corporation の、米国および他の国における登録商標または商標です。
・その他の会社名、商品名は、それぞれの会社の登録商標または商標です。

HD 革命 /Eraser Ver.6 ユーザーズ・マニュアル

2017年6月1日 第1版発行

発行 株式会社アーク情報システム

〒102-0076 東京都千代田区五番町4-2 東プレビル

© 2017 Ark Information Systems

乱丁・落丁はお取り替えいたします。

著作権法の範囲を超え、本書を無断で複写、複製、転載することを禁じます。